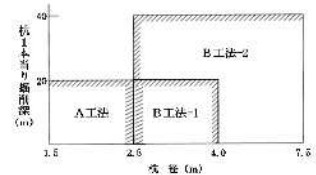
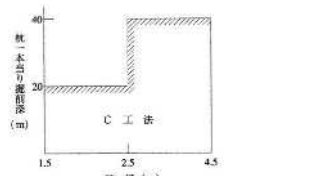
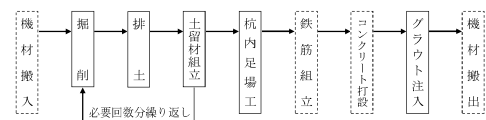
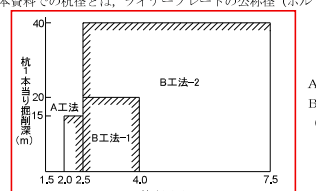


工 種	場所打杭工(ダウンザホールハンマ工)
-----	--------------------

改 正 理 由		一部改正		改 正 現 行																																						
現 行				改 正		備 考																																				
(2) やぐら設置・撤去 <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td>WB230820</td><td>施工単位</td><td>回</td></tr><tr><td>施工区分</td><td colspan="3">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="3">各 種</td><td>J 1</td><td colspan="2">J 2</td></tr><tr><td>使用機械区分</td><td colspan="2">ラフテレーンクレーンの賃料補正係数</td></tr><tr><td>①ラフテレーンクレーン ②索道</td><td colspan="2">①標準 ②標準以外 (実数入力)</td></tr></table> (注) 1. J 1 条件で②を選択した場合は、J 2 条件の入力の必要はない。 2. J 1 条件で②を選択した場合は、索道の設置・撤去は本コードに含まないので、別途計上すること。 3. ラフテレーンクレーンの賃料補正（夜間補正）を行った場合は、労務費調整係数も入力すること。				施工歩掛コード	WB230820	施工単位	回	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2		使用機械区分	ラフテレーンクレーンの賃料補正係数		①ラフテレーンクレーン ②索道	①標準 ②標準以外 (実数入力)		(2) やぐら設置・撤去 <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td>WB230820</td><td>施工単位</td><td>回</td></tr><tr><td>施工区分</td><td colspan="3">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="3">各 種</td><td>++</td><td colspan="2">J 1</td></tr><tr><td>使用機械区分</td><td colspan="2">ラフテレーンクレーンの賃料補正係数</td></tr><tr><td>①ラフテレーンクレーン ②索道</td><td colspan="2">①標準 ②標準以外 (実数入力)</td></tr></table> (注)1. J 1 条件で②を選択した場合は、J 2 条件の入力の必要はない。 2. J 1 条件で②を選択した場合は、索道の設置・撤去は本コードに含まないので、別途計上すること。 1. ラフテレーンクレーンの賃料補正（夜間補正）を行った場合は、労務費調整係数も入力すること。		施工歩掛コード	WB230820	施工単位	回	施工区分	入 力 条 件			各 種	++	J 1		使用機械区分	ラフテレーンクレーンの賃料補正係数		①ラフテレーンクレーン ②索道	①標準 ②標準以外 (実数入力)		記載の変更
施工歩掛コード	WB230820	施工単位	回																																							
施工区分	入 力 条 件																																									
各 種	J 1	J 2																																								
	使用機械区分	ラフテレーンクレーンの賃料補正係数																																								
	①ラフテレーンクレーン ②索道	①標準 ②標準以外 (実数入力)																																								
施工歩掛コード	WB230820	施工単位	回																																							
施工区分	入 力 条 件																																									
各 種	++	J 1																																								
	使用機械区分	ラフテレーンクレーンの賃料補正係数																																								
	①ラフテレーンクレーン ②索道	①標準 ②標準以外 (実数入力)																																								
II-3-②-11																																										
積算上の注意事項						(控え頁) 25／25																																				

工 種	深礎工
-----	-----

改 正 理 由	一部改正		改 正 現 行													
現 行		改 正		備 考												
③ 深礎工 ③-1 深礎工 1. 適 用 範 囲 本資料は、人力及び人力併用機械掘削、機械排土、ライナープレート土留工法による図1-1、図1-2に示す範囲の深礎杭の施工に適用する。 なお、本資料での杭径とは、ライナープレートの公称径（ボルト穴間の径）とし、土質区分は、表1. 1とする。  図1-1 適用杭径及び掘削深(標準)  図1-2 適用杭径及び掘削深(掘削機が現場に搬入出来ない場合) <table><caption>表1. 1 土質</caption><tr><th>土質</th><th>適用土質</th></tr><tr><td>土</td><td>砂及び砂質土、粘土及び粘性土、レキ及びレキ質土</td></tr><tr><td>岩</td><td>岩塊・主石及びこれらが砂、砂質土、粘性土、レキ質土と混合した土、軟岩 (Ⅰ)、(Ⅱ)、中硬岩・硬岩 (Ⅰ)</td></tr></table> 2. 施 工 概 要 施工フローは、下記を標準とする。  (注) 本串掛で対応しているのは、実線部分のみである。 図2-1 施工フロー II-3-③-1		土質	適用土質	土	砂及び砂質土、粘土及び粘性土、レキ及びレキ質土	岩	岩塊・主石及びこれらが砂、砂質土、粘性土、レキ質土と混合した土、軟岩 (Ⅰ)、(Ⅱ)、中硬岩・硬岩 (Ⅰ)	1. 適 用 範 囲 本資料は、人力及び人力併用機械掘削、機械排土、ライナープレート土留工法による図1-1、図1-2に示す範囲の深礎杭の施工に適用する。 なお、本資料での杭径とは、ライナープレートの公称径（ボルト穴間の径）とし、土質区分は、表1. 1とする。  図1-1 適用杭径及び掘削深(標準)  図1-2 適用杭径及び掘削深(掘削機が現場に搬入出来ない場合) <table><caption>表1. 1 土質</caption><tr><th>土質</th><th>適用土質</th></tr><tr><td>土</td><td>砂及び砂質土、粘土及び粘性土、レキ及びレキ質土</td></tr><tr><td>岩</td><td>岩塊・主石及びこれらが砂、砂質土、粘性土、レキ質土と混合した土、軟岩 (Ⅰ)、(Ⅱ)、中硬岩・硬岩 (Ⅰ)</td></tr></table> 2. 施 工 概 要 施工フローは、下記を標準とする。  (注) 本串掛で対応しているのは、実線部分のみである。 図2-1 施工フロー II-3-③-1		土質	適用土質	土	砂及び砂質土、粘土及び粘性土、レキ及びレキ質土	岩	岩塊・主石及びこれらが砂、砂質土、粘性土、レキ質土と混合した土、軟岩 (Ⅰ)、(Ⅱ)、中硬岩・硬岩 (Ⅰ)	記載の修正削除 (歩掛改定に伴う)
土質	適用土質															
土	砂及び砂質土、粘土及び粘性土、レキ及びレキ質土															
岩	岩塊・主石及びこれらが砂、砂質土、粘性土、レキ質土と混合した土、軟岩 (Ⅰ)、(Ⅱ)、中硬岩・硬岩 (Ⅰ)															
土質	適用土質															
土	砂及び砂質土、粘土及び粘性土、レキ及びレキ質土															
岩	岩塊・主石及びこれらが砂、砂質土、粘性土、レキ質土と混合した土、軟岩 (Ⅰ)、(Ⅱ)、中硬岩・硬岩 (Ⅰ)															
積算上の注意事項				(控え頁) 1／8												

工 種	深礎工
-----	-----

改 正 理 由		一部改正				改 正																																																																																																																																															
						現 行																																																																																																																																															
現 行						改 正						備 考																																																																																																																																									
3. 機 種 の 選 定 (1) 掘削土留作業に使用する機械・規格は、次表を標準とする。						3. 機 種 の 選 定 (1) 掘削土留作業に使用する機械・規格は、次表を標準とする。						記載の修正削除 (歩掛改定に伴う)																																																																																																																																									
表3.1 機種の選定						表3.1 機種の選定																																																																																																																																															
<table><tr><th rowspan="2">作業種別</th><th rowspan="2">機 械 名</th><th rowspan="2">規 格</th><th rowspan="2">単位</th><th rowspan="2">数量</th><th colspan="4">工 法</th><th rowspan="2">摘 要</th></tr><tr><th>A</th><th>B-1</th><th>B-2</th><th>C</th></tr><tr><td>排 土</td><td>ク ラ ム シ ェ ル</td><td>油圧クラムシェル・テレスコピック式・排出ガス対策型(第1次基準値)バケット容量(平積)0.4m³</td><td>台</td><td>1</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>排土及び土留材の吊込み</td><td>ラフテレーンクレーン</td><td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2011年規制)25t吊</td><td>”</td><td>1</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>や ぐ ら 装 置</td><td>簡易やぐら(モータウインチ付)能力0.5t</td><td>”</td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>杭径4.5m以下に使用</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">掘 削</td><td rowspan="2">小型 バック ホウ (ク ロ ー ラ 型)</td><td>電動式・山積0.03m³(平積0.021m³)</td><td>”</td><td>1</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>超小旋回型・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.11m³(平積0.08m³)</td><td>”</td><td>1</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						作業種別	機 械 名	規 格	単位	数量	工 法				摘 要	A	B-1	B-2	C	排 土	ク ラ ム シ ェ ル	油圧クラムシェル・テレスコピック式・排出ガス対策型(第1次基準値)バケット容量(平積)0.4m ³	台	1	○						排土及び土留材の吊込み	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2011年規制)25t吊	”	1	○	○	○					や ぐ ら 装 置	簡易やぐら(モータウインチ付)能力0.5t	”	1				○	杭径4.5m以下に使用		掘 削	小型 バック ホウ (ク ロ ー ラ 型)	電動式・山積0.03m ³ (平積0.021m ³)	”	1		○					超小旋回型・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.11m ³ (平積0.08m ³)	”	1			○				<table><tr><th rowspan="2">作 業 別</th><th rowspan="2">機 械 名</th><th rowspan="2">規 格</th><th rowspan="2">単位</th><th rowspan="2">数量</th><th colspan="4">工 法</th><th rowspan="2">摘 要</th></tr><tr><th>A</th><th>B-1</th><th>B-2</th><th>C</th></tr><tr><td>排 土</td><td>ク ラ ム シ ェ ル</td><td>油圧クラムシェル・テレスコピック式・排出ガス対策型(2014年規制)※排出ガス対策型(第1次基準値)バケット容量(平積)0.26m³～0.3m³</td><td>台</td><td>1</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>排土及び土留材の吊込み</td><td>ラフテレーンクレーン</td><td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2011年規制)最大吊上能力25t吊</td><td>”</td><td>1</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>や ぐ ら 装 置</td><td>簡易やぐら(モータウインチ付)吊能力0.5t</td><td>”</td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>杭径4.5m以下に使用</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">掘 削</td><td rowspan="2">小型 バック ホウ (ク ロ ー ラ 型)</td><td>電動式(有線)・標準型超小旋回型排出ガス対策型(第3次基準値)バケット容量0.03m³～0.04m³</td><td>”</td><td>1</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>電動式(有線)・標準型超小旋回型排出ガス対策型(第3次基準値)バケット容量0.11m³～0.12m³</td><td>”</td><td>1</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						作 業 別	機 械 名	規 格	単位	数量	工 法				摘 要	A	B-1	B-2	C	排 土	ク ラ ム シ ェ ル	油圧クラムシェル・テレスコピック式・排出ガス対策型(2014年規制)※ 排出ガス対策型(第1次基準値) バケット容量(平積)0.26m ³ ～0.3m ³	台	1	○						排土及び土留材の吊込み	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2011年規制)最大吊上能力25t吊	”	1	○	○	○					や ぐ ら 装 置	簡易やぐら(モータウインチ付)吊能力0.5t	”	1				○	杭径4.5m以下に使用		掘 削	小型 バック ホウ (ク ロ ー ラ 型)	電動式(有線)・標準型 超小旋回型 排出ガス対策型(第3次基準値) バケット容量0.03m ³ ～ 0.04m³	”	1		○					電動式(有線)・標準型 超小旋回型 排出ガス対策型(第3次基準値) バケット容量0.11m ³ ～ 0.12m³	”	1			○				記載の修正削除 (歩掛改定に伴う)			
作業種別	機 械 名	規 格	単位	数量	工 法						摘 要																																																																																																																																										
					A	B-1	B-2	C																																																																																																																																													
排 土	ク ラ ム シ ェ ル	油圧クラムシェル・テレスコピック式・排出ガス対策型(第1次基準値)バケット容量(平積)0.4m ³	台	1	○																																																																																																																																																
排土及び土留材の吊込み	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2011年規制)25t吊	”	1	○	○	○																																																																																																																																														
	や ぐ ら 装 置	簡易やぐら(モータウインチ付)能力0.5t	”	1				○	杭径4.5m以下に使用																																																																																																																																												
掘 削	小型 バック ホウ (ク ロ ー ラ 型)	電動式・山積0.03m ³ (平積0.021m ³)	”	1		○																																																																																																																																															
		超小旋回型・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.11m ³ (平積0.08m ³)	”	1			○																																																																																																																																														
作 業 別	機 械 名	規 格	単位	数量	工 法				摘 要																																																																																																																																												
					A	B-1	B-2	C																																																																																																																																													
排 土	ク ラ ム シ ェ ル	油圧クラムシェル・テレスコピック式・排出ガス対策型(2014年規制)※ 排出ガス対策型(第1次基準値) バケット容量(平積)0.26m ³ ～0.3m ³	台	1	○																																																																																																																																																
排土及び土留材の吊込み	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2011年規制)最大吊上能力25t吊	”	1	○	○	○																																																																																																																																														
	や ぐ ら 装 置	簡易やぐら(モータウインチ付)吊能力0.5t	”	1				○	杭径4.5m以下に使用																																																																																																																																												
掘 削	小型 バック ホウ (ク ロ ー ラ 型)	電動式(有線)・標準型 超小旋回型 排出ガス対策型(第3次基準値) バケット容量0.03m ³ ～ 0.04m³	”	1		○																																																																																																																																															
		電動式(有線)・標準型 超小旋回型 排出ガス対策型(第3次基準値) バケット容量0.11m ³ ～ 0.12m³	”	1			○																																																																																																																																														
(注) 1. 上表の設備は、掘削土を杭端近隣に仮置きする場合である。 2. 排土運搬にベルトコンベヤを使用する場合は、別途計上する。 3. B工法のラフテレーンクレーン作業は、バックホウの杭内搬入・搬出を含む。 4. ラフテレーンクレーン、小型バックホウ(山積0.11m ³)は、賃料とする。						(注) 1. 上表の設備は、掘削土を杭端近隣に仮置きする場合である。 2. 排土運搬にベルトコンベヤを使用する場合は、別途計上する。 3. B工法のラフテレーンクレーン作業は、バックホウの杭内搬入・搬出を含む。 4. ラフテレーンクレーン、小型バックホウ(平積0.11m ³)は、賃料とする。																																																																																																																																															
(2) 土留材 土留材は、ライナープレートを使用し、全ての土質について掘削深全長を施工し、土留材は撤去しない埋設を原則とする。また、使用規格は、土圧計算等によって決定する。						現行どおり																																																																																																																																															
(3) 機械損料補正 深礎工に使用する掘削機械(小型バックホウ)、排土機械(クラムシェル)の損料については、岩石割増(中硬岩・硬岩(Ⅰ))として運転1時間当り損料に対し損料補正を行うものとし、補正係数は、次表を標準とする。						表3.2 補正係数																																																																																																																																															
表3.2 補正係数						表3.2 補正係数						記載の修正削除 (歩掛改定に伴う)																																																																																																																																									
<table><tr><th>機械名</th><th>岩分類</th><th>中硬岩・硬岩(Ⅰ)</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>ク ラ ム シ ェ ル</td><td></td><td>+0.1</td><td>A工法</td></tr><tr><td>小 型 バ ッ ク ホ ウ (電動式 山積0.03m³)</td><td></td><td>+0.1</td><td>B工法-1</td></tr></table>						機械名	岩分類	中硬岩・硬岩(Ⅰ)	摘 要	ク ラ ム シ ェ ル				+0.1	A工法	小 型 バ ッ ク ホ ウ (電動式 山積0.03m ³)		+0.1	B工法-1	<table><tr><th>機械名</th><th>岩分類</th><th>中硬岩・硬岩(Ⅰ)</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>ク ラ ム シ ェ ル</td><td></td><td>+0.1</td><td>A工法</td></tr><tr><td>[小 型 バ ッ ク ホ ウ (電動式(有線)・標準型) 超小旋回型 バケット容量0.03m³]</td><td></td><td>+0.1</td><td>B工法-1</td></tr></table>						機械名	岩分類	中硬岩・硬岩(Ⅰ)	摘 要	ク ラ ム シ ェ ル		+0.1	A工法	[小 型 バ ッ ク ホ ウ (電動式(有線)・標準型) 超小旋回型 バケット容量0.03m³]		+0.1	B工法-1	記載の修正削除 (歩掛改定に伴う)																																																																																																															
機械名	岩分類	中硬岩・硬岩(Ⅰ)	摘 要																																																																																																																																																		
ク ラ ム シ ェ ル		+0.1	A工法																																																																																																																																																		
小 型 バ ッ ク ホ ウ (電動式 山積0.03m ³)		+0.1	B工法-1																																																																																																																																																		
機械名	岩分類	中硬岩・硬岩(Ⅰ)	摘 要																																																																																																																																																		
ク ラ ム シ ェ ル		+0.1	A工法																																																																																																																																																		
[小 型 バ ッ ク ホ ウ (電動式(有線)・標準型) 超小旋回型 バケット容量0.03m³]		+0.1	B工法-1																																																																																																																																																		
4. 編 成 人 員 掘削土留作業編成人員は、次表を標準とする。						4. 編 成 人 員 掘削土留作業編成人員は、次表を標準とする。																																																																																																																																															
表4.1 掘削土留作業編成人員 (人)						表4.1 掘削土留作業編成人員 (人)																																																																																																																																															
<table><tr><th rowspan="2">職種</th><th rowspan="2">工法 杭径(m)</th><th>A工法</th><th>B工法-1</th><th>B工法-2</th><th colspan="2">C工法</th></tr><tr><th>1.5以上 2.5以下</th><th>2.5を超え 4.0以下</th><th>2.5以上 7.5以下</th><th>1.5以上 2.5以下</th><th>2.5を超え 4.5以下</th></tr><tr><td>土木一般世話役</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>トンネル特殊工</td><td>2</td><td>2</td><td>4</td><td>2</td><td>4</td><td></td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr></table>						職種	工法 杭径(m)	A工法	B工法-1	B工法-2	C工法		1.5以上 2.5以下	2.5を超え 4.0以下	2.5以上 7.5以下	1.5以上 2.5以下	2.5を超え 4.5以下	土木一般世話役	1	1	1	1	1	1	トンネル特殊工	2	2	4	2	4		特 殊 作 業 員	1	1	1	1	1	1	普 通 作 業 員	1	1	1	1	1	1	<table><tr><th rowspan="2">職種</th><th rowspan="2">工法 杭径(m)</th><th>A工法</th><th>B工法-1</th><th>B工法-2</th><th colspan="2">C工法</th></tr><tr><th>2.0以上 2.5以下</th><th>2.5以上 4.0以下</th><th>2.5以上 7.5以下</th><th>1.5以上 2.5以下</th><th>2.5を超え 4.5以下</th></tr><tr><td>土木一般世話役</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>トンネル特殊工</td><td>2</td><td>2</td><td>4</td><td>2</td><td>4</td><td></td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr></table>						職種	工法 杭径(m)	A工法	B工法-1	B工法-2	C工法		2.0以上 2.5以下	2.5以上 4.0以下	2.5以上 7.5以下	1.5以上 2.5以下	2.5を超え 4.5以下	土木一般世話役	1	1	1	1	1	1	トンネル特殊工	2	2	4	2	4		特 殊 作 業 員	1	1	1	1	1	1	普 通 作 業 員	1	1	1	1	1	1	記載の修正削除 (歩掛改定に伴う)																																																									
職種	工法 杭径(m)	A工法	B工法-1	B工法-2	C工法																																																																																																																																																
		1.5以上 2.5以下	2.5を超え 4.0以下	2.5以上 7.5以下	1.5以上 2.5以下	2.5を超え 4.5以下																																																																																																																																															
土木一般世話役	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																															
トンネル特殊工	2	2	4	2	4																																																																																																																																																
特 殊 作 業 員	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																															
普 通 作 業 員	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																															
職種	工法 杭径(m)	A工法	B工法-1	B工法-2	C工法																																																																																																																																																
		2.0以上 2.5以下	2.5以上 4.0以下	2.5以上 7.5以下	1.5以上 2.5以下	2.5を超え 4.5以下																																																																																																																																															
土木一般世話役	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																															
トンネル特殊工	2	2	4	2	4																																																																																																																																																
特 殊 作 業 員	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																															
普 通 作 業 員	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																															
II-3-③-2																																																																																																																																																					
積算上の注意事項												(控え頁) 2/8																																																																																																																																									

工 種	深礎工
-----	-----

改 正 理 由	一部改正	改 正		備 考																																																																																												
		現 行																																																																																														
現 行		改 正		記載の修正削除 (歩掛改定に伴う)																																																																																												
5. 施 工 歩 掛 5-1 深礎杭1本当り施工日数 深礎杭1本当り施工日数は、次式による。 d = α・d₁・ϑ (日／本) d : 深礎杭1本当り施工日数 (日／本) α : 土質係数 d₁: 掘削1m当り施工日数 (日／m) ϑ: 深礎杭1本当り掘削長 (m／本) (1) 土質係数 (α) 土質係数は、次表を標準とする。 <table><caption>表5. 1 土質係数(α)</caption><tr><th>土</th><th>岩</th></tr><tr><td>砂及び砂質土、 粘性土、レキ質土</td><td>岩塊・玉石混じり土、 軟岩(Ⅰ)、(Ⅱ)、 中硬岩、硬岩(Ⅰ)</td></tr><tr><td>0.57</td><td>1.12</td></tr></table> (注) 杭1本当り土質区分が異なる場合の土質係数αは、次のとおり加重平均して算出する。 α = $\frac{\alpha_1 \times \vartheta_1 + \alpha_2 \times \vartheta_2}{\vartheta_1 + \vartheta_2}$ α₁: 土質係数 (土) ϑ₁: 掘削長 (土) α₂: 土質係数 (岩) ϑ₂: 掘削長 (岩) (2) 掘削1m当り施工日数 (d₁) 掘削1m当り施工日数は、次表を標準とする。 なお、岩掘削は火薬によるものとする。 <table><caption>表5. 2 掘削1m当り施工日数(d₁)(A工法) (日／m)</caption><tr><th rowspan="2">掘削深(m)</th><th colspan="2">杭径(m)</th></tr><tr><th>1.5以上 2.0以下</th><th>2.0を超え 2.5以下</th></tr><tr><td>5以下</td><td>0.38</td><td>0.46</td></tr><tr><td>5を超え10以下</td><td>0.50</td><td>0.60</td></tr><tr><td>10を超え15以下</td><td>0.62</td><td>0.74</td></tr><tr><td>15を超え20以下</td><td>0.74</td><td>0.89</td></tr></table><table><caption>表5. 3 掘削1m当り施工日数(d₁)(B工法-1) (日／m)</caption><tr><th rowspan="2">掘削深(m)</th><th colspan="3">杭径(m)</th></tr><tr><th>2.5を超え 3.0以下</th><th>3.0を超え 3.5以下</th><th>3.5を超え 4.0以下</th></tr><tr><td>5以下</td><td>0.81</td><td>0.85</td><td>0.91</td></tr><tr><td>5を超え10以下</td><td>0.94</td><td>1.00</td><td>1.05</td></tr><tr><td>10を超え15以下</td><td>1.08</td><td>1.14</td><td>1.21</td></tr><tr><td>15を超え20以下</td><td>1.21</td><td>1.29</td><td>1.35</td></tr></table> Ⅱ-3-③-3		土	岩	砂及び砂質土、 粘性土、レキ質土	岩塊・玉石混じり土、 軟岩(Ⅰ)、(Ⅱ)、 中硬岩、硬岩(Ⅰ)	0.57	1.12	掘削深(m)	杭径(m)		1.5以上 2.0以下	2.0を超え 2.5以下	5以下	0.38	0.46	5を超え10以下	0.50	0.60	10を超え15以下	0.62	0.74	15を超え20以下	0.74	0.89	掘削深(m)	杭径(m)			2.5を超え 3.0以下	3.0を超え 3.5以下	3.5を超え 4.0以下	5以下	0.81	0.85	0.91	5を超え10以下	0.94	1.00	1.05	10を超え15以下	1.08	1.14	1.21	15を超え20以下	1.21	1.29	1.35	5. 施 工 歩 掛 5-1 深礎杭1本当り施工日数 深礎杭1本当り施工日数は、次式による。 d = α・d₁・ϑ (日／本) d : 深礎杭1本当り施工日数 (日／本) α : 土質係数 d₁: 掘削1m当り施工日数 (日／m) ϑ: 深礎杭1本当り掘削長 (m／本) (2) 掘削1m当り施工日数 (d₁) 掘削1m当り施工日数は、次表を標準とする。 なお、岩掘削は火薬によるものとする。 <table><caption>表5. 2 掘削1m当り施工日数(d₁)(A工法) (日／m)</caption><tr><th rowspan="2">掘削深(m)</th><th colspan="2">杭径(m)</th></tr><tr><th>1.5以上 2.0以下</th><th>2.0以上 2.5以下</th></tr><tr><td>5以下</td><td>0.38</td><td>0.46</td></tr><tr><td>5を超え10以下</td><td>0.50</td><td>0.60</td></tr><tr><td>10を超え15以下</td><td>0.62</td><td>0.74</td></tr><tr><td>15を超え20以下</td><td>0.74</td><td>0.89</td></tr></table><table><caption>表5. 3 掘削1m当り施工日数(d₁)(B工法-1) (日／m)</caption><tr><th rowspan="2">掘削深(m)</th><th colspan="3">杭径(m)</th></tr><tr><th>2.5を超え 3.0以下</th><th>2.5以上 3.0以下</th><th>3.0を超え 3.5以下</th><th>3.5を超え 4.0以下</th></tr><tr><td>5以下</td><td>0.81</td><td>-</td><td>0.85</td><td>0.91</td></tr><tr><td>5を超え10以下</td><td>0.94</td><td>-</td><td>1.00</td><td>1.05</td></tr><tr><td>10を超え15以下</td><td>1.08</td><td>-</td><td>1.14</td><td>1.21</td></tr><tr><td>15を超え20以下</td><td>-</td><td>1.21</td><td>1.29</td><td>1.35</td></tr></table>		掘削深(m)	杭径(m)		1.5以上 2.0以下	2.0以上 2.5以下	5以下	0.38	0.46	5を超え10以下	0.50	0.60	10を超え15以下	0.62	0.74	15を超え20以下	0.74	0.89	掘削深(m)	杭径(m)			2.5を超え 3.0以下	2.5以上 3.0以下	3.0を超え 3.5以下	3.5を超え 4.0以下	5以下	0.81	-	0.85	0.91	5を超え10以下	0.94	-	1.00	1.05	10を超え15以下	1.08	-	1.14	1.21	15を超え20以下	-	1.21	1.29	1.35	現行どおり	記載の修正削除 (歩掛改定に伴う)
土	岩																																																																																															
砂及び砂質土、 粘性土、レキ質土	岩塊・玉石混じり土、 軟岩(Ⅰ)、(Ⅱ)、 中硬岩、硬岩(Ⅰ)																																																																																															
0.57	1.12																																																																																															
掘削深(m)	杭径(m)																																																																																															
	1.5以上 2.0以下	2.0を超え 2.5以下																																																																																														
5以下	0.38	0.46																																																																																														
5を超え10以下	0.50	0.60																																																																																														
10を超え15以下	0.62	0.74																																																																																														
15を超え20以下	0.74	0.89																																																																																														
掘削深(m)	杭径(m)																																																																																															
	2.5を超え 3.0以下	3.0を超え 3.5以下	3.5を超え 4.0以下																																																																																													
5以下	0.81	0.85	0.91																																																																																													
5を超え10以下	0.94	1.00	1.05																																																																																													
10を超え15以下	1.08	1.14	1.21																																																																																													
15を超え20以下	1.21	1.29	1.35																																																																																													
掘削深(m)	杭径(m)																																																																																															
	1.5以上 2.0以下	2.0以上 2.5以下																																																																																														
5以下	0.38	0.46																																																																																														
5を超え10以下	0.50	0.60																																																																																														
10を超え15以下	0.62	0.74																																																																																														
15を超え20以下	0.74	0.89																																																																																														
掘削深(m)	杭径(m)																																																																																															
	2.5を超え 3.0以下	2.5以上 3.0以下	3.0を超え 3.5以下	3.5を超え 4.0以下																																																																																												
5以下	0.81	-	0.85	0.91																																																																																												
5を超え10以下	0.94	-	1.00	1.05																																																																																												
10を超え15以下	1.08	-	1.14	1.21																																																																																												
15を超え20以下	-	1.21	1.29	1.35																																																																																												
積算上の注意事項		(控え頁) 3／8																																																																																														

工 種	深礎工
-----	-----

改 正 理 由	一部改正	改 正																																																										
		現 行																																																										
現 行		改 正		備 考																																																								
5－2 杭内足場工 (1) 足場の種類及び数量 足場の種類は、手摺先行型枠組足場を標準とする。 掛面積は、次式による。 掛面積 (m²)＝掘削1m当り掛面積 (m²)×掘削深 (m) 表5.7 掘削1m当り掛面積 (m²) <table><tr><td>杭 径 (m)</td><td>1.5以上 2.0以下</td><td>2.0を超え 2.5以下</td><td>2.5を超え 3.0以下</td><td>3.0を超え 3.5以下</td><td>3.5を超え 4.0以下</td><td>4.0を超え 4.5以下</td></tr><tr><td>掛面積 (m²)</td><td>1.2</td><td>1.5</td><td>3.6</td><td>3.6</td><td>5.0</td><td>6.6</td></tr><tr><td>杭 径 (m)</td><td>4.5を超え 5.0以下</td><td>5.0を超え 5.5以下</td><td>5.5を超え 6.0以下</td><td>6.0を超え 6.5以下</td><td>6.5を超え 7.0以下</td><td>7.0を超え 7.5以下</td></tr><tr><td>掛面積 (m²)</td><td>8.2</td><td>9.7</td><td>11.3</td><td>12.9</td><td>14.4</td><td>16.0</td></tr></table> (2) 設置・撤去歩掛 足場設置・撤去歩掛は、「第Ⅱ編第5章㉑－1足場工」による。ただし、ラフテレーンクレーンが使用出来ない場合は、別途考慮する。 5－3 鉄筋工 鉄筋工は、「第Ⅵ編第2章㉑－1鉄筋工 (太径鉄筋含む)」により別途計上する。 5－4 コンクリート工 コンクリート打設は、「第Ⅱ編第3章㉑－2コンクリート工 (深礎工)」により別途計上する。 Ⅱ-3-㉑-5		杭 径 (m)	1.5以上 2.0以下	2.0を超え 2.5以下	2.5を超え 3.0以下	3.0を超え 3.5以下	3.5を超え 4.0以下	4.0を超え 4.5以下	掛面積 (m²)	1.2	1.5	3.6	3.6	5.0	6.6	杭 径 (m)	4.5を超え 5.0以下	5.0を超え 5.5以下	5.5を超え 6.0以下	6.0を超え 6.5以下	6.5を超え 7.0以下	7.0を超え 7.5以下	掛面積 (m²)	8.2	9.7	11.3	12.9	14.4	16.0	5－2 杭内足場工 (1) 足場の種類及び数量 足場の種類は、手摺先行型枠組足場を標準とする。 掛面積は、次式による。 掛面積 (m2)＝掘削1m当り掛面積 (m2)×掘削深 (m) 表5.7 掘削1m当り掛面積 (m2) <table><tr><td>杭 径 (m)</td><td>1.5以上 2.0以下</td><td>2.0を超え 2.5以下</td><td>2.5を超え 3.0以下</td><td>3.0を超え 3.5以下</td><td>3.5を超え 4.0以下</td><td>4.0を超え 4.5以下</td></tr><tr><td>掛面積 (m2)</td><td>1.2</td><td>1.5</td><td>3.6</td><td>3.6</td><td>5.0</td><td>6.6</td></tr><tr><td>杭 径 (m)</td><td>4.5を超え 5.0以下</td><td>5.0を超え 5.5以下</td><td>5.5を超え 6.0以下</td><td>6.0を超え 6.5以下</td><td>6.5を超え 7.0以下</td><td>7.0を超え 7.5以下</td></tr><tr><td>掛面積 (m2)</td><td>8.2</td><td>9.7</td><td>11.3</td><td>12.9</td><td>14.4</td><td>16.0</td></tr></table> (2) 設置・撤去歩掛 足場設置・撤去歩掛は、「第Ⅱ編第5章仮設工㉑－1足場工」による。ただし、ラフテレーンクレーンが使用出来ない場合は、別途考慮する。 5－3 鉄筋工 鉄筋工は、「第Ⅱ編第4章コンクリート工㉑→鉄筋工 (太径鉄筋含む)」により別途計上する。 5－4 コンクリート工 コンクリート打設は、「第Ⅱ編第3章基礎工㉑－2コンクリート工 (深礎工)」により別途計上する。		杭 径 (m)	1.5以上 2.0以下	2.0を超え 2.5以下	2.5を超え 3.0以下	3.0を超え 3.5以下	3.5を超え 4.0以下	4.0を超え 4.5以下	掛面積 (m2)	1.2	1.5	3.6	3.6	5.0	6.6	杭 径 (m)	4.5を超え 5.0以下	5.0を超え 5.5以下	5.5を超え 6.0以下	6.0を超え 6.5以下	6.5を超え 7.0以下	7.0を超え 7.5以下	掛面積 (m2)	8.2	9.7	11.3	12.9	14.4	16.0	記載の修正削除 (歩掛改定に伴う)
杭 径 (m)	1.5以上 2.0以下	2.0を超え 2.5以下	2.5を超え 3.0以下	3.0を超え 3.5以下	3.5を超え 4.0以下	4.0を超え 4.5以下																																																						
掛面積 (m²)	1.2	1.5	3.6	3.6	5.0	6.6																																																						
杭 径 (m)	4.5を超え 5.0以下	5.0を超え 5.5以下	5.5を超え 6.0以下	6.0を超え 6.5以下	6.5を超え 7.0以下	7.0を超え 7.5以下																																																						
掛面積 (m²)	8.2	9.7	11.3	12.9	14.4	16.0																																																						
杭 径 (m)	1.5以上 2.0以下	2.0を超え 2.5以下	2.5を超え 3.0以下	3.0を超え 3.5以下	3.5を超え 4.0以下	4.0を超え 4.5以下																																																						
掛面積 (m2)	1.2	1.5	3.6	3.6	5.0	6.6																																																						
杭 径 (m)	4.5を超え 5.0以下	5.0を超え 5.5以下	5.5を超え 6.0以下	6.0を超え 6.5以下	6.5を超え 7.0以下	7.0を超え 7.5以下																																																						
掛面積 (m2)	8.2	9.7	11.3	12.9	14.4	16.0																																																						
積算上の注意事項				(控え頁) 4／8																																																								

工 種	深礎工
-----	-----

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行																																																																																																																																					
現 行				改 正				備 考																																																																																																																																			
5－5 グラウト工 (1) 注入歩掛 グラウト材は、混合済みグラウト材の現場持込みを標準とする。 土留材と地山の隙間をグラウトにより間詰する場合の注入歩掛は、次表を標準とする。 表5. 8 グラウト注入歩掛 (注入量10m³当り) <table><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単位</td><td>数量</td></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>0.54</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>#</td><td>1.09</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>#</td><td>0.54</td></tr><tr><td>諸 雑 費 率</td><td></td><td>%</td><td>18</td></tr></table> (注) 1. グラウト用パイプが必要な場合は、別途計上する。 2. 諸雑費は、グラウトポンプ、グラウトホース、グラウト流量・圧力測定装置、電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 (2) グラウト使用数量 次式を標準とするが、現場条件により次式が適用出来ない場合は、別途考慮する。 G＝0.10π (D＋0.10) ϕ₂×1.14 G：杭1本当りグラウト使用数量 (m³／本) D：杭径 (公称径) (m) ϕ₂：杭1本当りグラウト必要長 (m) 5－6 掘削作業設備組立解体工 (C工法に適用) 深礎杭1本当りのやぐら装置、作業用足場等の組立・解体は、次表を標準とする。 表5. 9 組立・解体歩掛 (深礎杭1本当り) <table><tr><td rowspan="2">名 称</td><td rowspan="2">規 格</td><td rowspan="2">単位</td><td colspan="3">杭 径 (m)</td></tr><tr><td>1.5以上2.5未満</td><td>2.5以上3.0未満</td><td>3.0以上4.5以下</td></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>0.7</td><td>1.0</td><td>1.3</td></tr><tr><td>と び 工</td><td></td><td>#</td><td>1.0</td><td>1.2</td><td>1.4</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>#</td><td>1.4</td><td>1.7</td><td>1.9</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>#</td><td>1.2</td><td>1.8</td><td>2.3</td></tr><tr><td>トラッククレーン運転</td><td>油圧伸縮ジブ型 4.9t吊</td><td>日</td><td colspan="3">0.6</td></tr><tr><td>諸 雑 費 率</td><td></td><td>%</td><td colspan="3">3</td></tr></table> (注) 1. 上表は、組立と解体を合計した歩掛である。 2. 諸雑費は、作業用足場等の材料費であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. トラッククレーンは、賃料とする。 4. 現場条件により上表により難しい場合は、別途考慮する。				名 称	規 格	単位	数量	土 木 一 般 世 話 役		人	0.54	特 殊 作 業 員		#	1.09	普 通 作 業 員		#	0.54	諸 雑 費 率		%	18	名 称	規 格	単位	杭 径 (m)			1.5以上2.5未満	2.5以上3.0未満	3.0以上4.5以下	土 木 一 般 世 話 役		人	0.7	1.0	1.3	と び 工		#	1.0	1.2	1.4	特 殊 作 業 員		#	1.4	1.7	1.9	普 通 作 業 員		#	1.2	1.8	2.3	トラッククレーン運転	油圧伸縮ジブ型 4.9t吊	日	0.6			諸 雑 費 率		%	3			5－5 グラウト工 (1) 注入歩掛 グラウト材は、混合済みグラウト材の現場持込みを標準とする。 土留材と地山の隙間をグラウトにより間詰する場合の注入歩掛は、次表を標準とする。 表5. 8 グラウト注入歩掛 (注入量10m³当り) <table><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単位</td><td>数量</td></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>0.54</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>#</td><td>1.09</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>#</td><td>0.54</td></tr><tr><td>諸 雑 費 率</td><td></td><td>%</td><td>18</td></tr></table> (注) 1. グラウト用パイプが必要な場合は、別途計上する。 2. 諸雑費は、グラウトポンプ、グラウトホース、グラウト流量・圧力測定装置、電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 (2) グラウト使用数量 次式を標準とするが、現場条件により次式が適用出来ない場合は、別途考慮する。 G＝0.10π (D＋0.10) ϕ₂×1.14 G：杭1本当りグラウト使用数量 (m³／本) D：杭径 (公称径) (m) ϕ₂：杭1本当りグラウト必要長 (m) 5－6 掘削作業設備組立解体工 (C工法に適用) 深礎杭1本当りのやぐら装置、作業用足場等の組立・解体は、次表を標準とする。 表5. 9 組立・解体歩掛 (深礎杭1本当り) <table><tr><td rowspan="2">名 称</td><td rowspan="2">規 格</td><td rowspan="2">単位</td><td colspan="3">杭 径 (m)</td></tr><tr><td>1.5以上2.5未満</td><td>2.5以上3.0未満</td><td>3.0以上4.5以下</td></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>0.7</td><td>1.0</td><td>1.3</td></tr><tr><td>と び 工</td><td></td><td>#</td><td>1.0</td><td>1.2</td><td>1.4</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>#</td><td>1.4</td><td>1.7</td><td>1.9</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>#</td><td>1.2</td><td>1.8</td><td>2.3</td></tr><tr><td>トラッククレーン運転</td><td>「トラッククレーン・油圧伸縮ジブ型」 最大吊上能力4.9t吊</td><td>日</td><td colspan="3">0.6</td></tr><tr><td>諸 雑 費 率</td><td></td><td>%</td><td colspan="3">3</td></tr></table> (注) 1. 上表は、組立と解体を合計した歩掛である。 2. 諸雑費は、作業用足場等の材料費であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. トラッククレーンは、賃料とする。 4. 現場条件により上表により難しい場合は、別途考慮する。				名 称	規 格	単位	数量	土 木 一 般 世 話 役		人	0.54	特 殊 作 業 員		#	1.09	普 通 作 業 員		#	0.54	諸 雑 費 率		%	18	名 称	規 格	単位	杭 径 (m)			1.5以上2.5未満	2.5以上3.0未満	3.0以上4.5以下	土 木 一 般 世 話 役		人	0.7	1.0	1.3	と び 工		#	1.0	1.2	1.4	特 殊 作 業 員		#	1.4	1.7	1.9	普 通 作 業 員		#	1.2	1.8	2.3	トラッククレーン運転	「トラッククレーン・油圧伸縮ジブ型」 最大吊上能力4.9t吊	日	0.6			諸 雑 費 率		%	3			記載の修正削除 (歩掛改定に伴う)	
名 称	規 格	単位	数量																																																																																																																																								
土 木 一 般 世 話 役		人	0.54																																																																																																																																								
特 殊 作 業 員		#	1.09																																																																																																																																								
普 通 作 業 員		#	0.54																																																																																																																																								
諸 雑 費 率		%	18																																																																																																																																								
名 称	規 格	単位	杭 径 (m)																																																																																																																																								
			1.5以上2.5未満	2.5以上3.0未満	3.0以上4.5以下																																																																																																																																						
土 木 一 般 世 話 役		人	0.7	1.0	1.3																																																																																																																																						
と び 工		#	1.0	1.2	1.4																																																																																																																																						
特 殊 作 業 員		#	1.4	1.7	1.9																																																																																																																																						
普 通 作 業 員		#	1.2	1.8	2.3																																																																																																																																						
トラッククレーン運転	油圧伸縮ジブ型 4.9t吊	日	0.6																																																																																																																																								
諸 雑 費 率		%	3																																																																																																																																								
名 称	規 格	単位	数量																																																																																																																																								
土 木 一 般 世 話 役		人	0.54																																																																																																																																								
特 殊 作 業 員		#	1.09																																																																																																																																								
普 通 作 業 員		#	0.54																																																																																																																																								
諸 雑 費 率		%	18																																																																																																																																								
名 称	規 格	単位	杭 径 (m)																																																																																																																																								
			1.5以上2.5未満	2.5以上3.0未満	3.0以上4.5以下																																																																																																																																						
土 木 一 般 世 話 役		人	0.7	1.0	1.3																																																																																																																																						
と び 工		#	1.0	1.2	1.4																																																																																																																																						
特 殊 作 業 員		#	1.4	1.7	1.9																																																																																																																																						
普 通 作 業 員		#	1.2	1.8	2.3																																																																																																																																						
トラッククレーン運転	「トラッククレーン・油圧伸縮ジブ型」 最大吊上能力4.9t吊	日	0.6																																																																																																																																								
諸 雑 費 率		%	3																																																																																																																																								
積算上の注意事項								(控え頁) 5／8																																																																																																																																			

工 種	深礎工
-----	-----

改 正 理 由		一部改正		改 正 現 行																																																																																																																																																																																																																																																																															
現 行				改 正				備 考																																																																																																																																																																																																																																																																											
6. 内訳書及び単価表 (1) 深礎杭 1 本当り内訳書 <table><tr><td colspan="2">施工歩掛コード</td><td colspan="2">WB230910, WB230930, WB230920</td></tr><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単位</td><td>数量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>掘 削 土 留</td><td></td><td>本</td><td></td><td>単価表(2)</td></tr><tr><td>掘削作業設備組立解体工</td><td>やぐら装置</td><td>式</td><td>1</td><td>単価表(3) ※C工法のみ計上</td></tr><tr><td>杭 内 足 場 工</td><td>手摺先行型枠組足場</td><td>掛㎡</td><td></td><td></td></tr><tr><td>鉄 筋 工</td><td></td><td>t</td><td></td><td></td></tr><tr><td>コンクリート工</td><td></td><td>㎡</td><td></td><td>別途計上 (CB230960)</td></tr><tr><td>グラウト工</td><td></td><td>㎡</td><td></td><td>単価表(4)</td></tr><tr><td>土 留 材</td><td>ライナープレート</td><td>m</td><td></td><td></td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> (2) 掘削土留 1 本当り単価表 <table><tr><td colspan="2">施工歩掛コード</td><td colspan="2">WB230910</td></tr><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単位</td><td>数量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>土木一般世話役</td><td></td><td>人</td><td>d×M</td><td></td></tr><tr><td>トンネル特殊工</td><td></td><td>㎡</td><td>d×M</td><td>d：深礎杭1本当り施工日数 M：表4.1の人員</td></tr><tr><td>特殊作業員</td><td></td><td>㎡</td><td>d×M</td><td></td></tr><tr><td>普通作業員</td><td></td><td>㎡</td><td>d×M</td><td></td></tr><tr><td>クラムシェル運転</td><td>油圧クラムシェル・ テレスコピック式・ 排出ガス対策型(第1次基準値) バケット容量(平積0.4㎡)</td><td>日</td><td>d</td><td>※A工法のみ計上 機械損料</td></tr><tr><td>ラフテレーンクレーン</td><td>油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2011年規制) 25t吊</td><td>㎡</td><td>d</td><td>※A、B工法のみ計上 機械賃料</td></tr><tr><td>小型バックホウ (クローラ型)運転</td><td>電動式 山積0.03㎡(平積0.021㎡)</td><td>㎡</td><td>d</td><td>※B工法-1のみ計上 機械損料</td></tr><tr><td>小型バックホウ (クローラ型)運転</td><td>超小旋回型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.11㎡(平積0.08㎡)</td><td>㎡</td><td>d</td><td>※B工法-2のみ計上 機械賃料</td></tr><tr><td>やぐら装置</td><td>簡易やぐら(モータウインチ付) 能力0.5t</td><td>㎡</td><td>d</td><td>※C工法のみ計上 d＝1.5×d d：深礎杭1本当り供用日数 機械損料</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表5.6</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> (3) 掘削作業設備組立解体工 杭 1 本当り単価表 (C工法のみ計上) <table><tr><td colspan="2">施工歩掛コード</td><td colspan="2">WB230920</td></tr><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単位</td><td>数量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>土木一般世話役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表5.9</td></tr><tr><td>とび工</td><td></td><td>㎡</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>特殊作業員</td><td></td><td>㎡</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>普通作業員</td><td></td><td>㎡</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>トラッククレーン</td><td>油圧伸縮ジブ型 4.9t吊</td><td>日</td><td></td><td>表5.9 機械賃料</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表5.9</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table></table></table>				施工歩掛コード		WB230910, WB230930, WB230920		名 称	規 格	単位	数量	摘 要	掘 削 土 留		本		単価表(2)	掘削作業設備組立解体工	やぐら装置	式	1	単価表(3) ※C工法のみ計上	杭 内 足 場 工	手摺先行型枠組足場	掛㎡			鉄 筋 工		t			コンクリート工		㎡		別途計上 (CB230960)	グラウト工		㎡		単価表(4)	土 留 材	ライナープレート	m			計					施工歩掛コード		WB230910		名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土木一般世話役		人	d×M		トンネル特殊工		㎡	d×M	d：深礎杭1本当り施工日数 M：表4.1の人員	特殊作業員		㎡	d×M		普通作業員		㎡	d×M		クラムシェル運転	油圧クラムシェル・ テレスコピック式・ 排出ガス対策型(第1次基準値) バケット容量(平積0.4㎡)	日	d	※A工法のみ計上 機械損料	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2011年規制) 25t吊	㎡	d	※A、B工法のみ計上 機械賃料	小型バックホウ (クローラ型)運転	電動式 山積0.03㎡(平積0.021㎡)	㎡	d	※B工法-1のみ計上 機械損料	小型バックホウ (クローラ型)運転	超小旋回型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.11㎡(平積0.08㎡)	㎡	d	※B工法-2のみ計上 機械賃料	やぐら装置	簡易やぐら(モータウインチ付) 能力0.5t	㎡	d	※C工法のみ計上 d＝1.5×d d：深礎杭1本当り供用日数 機械損料	諸 雑 費		式	1	表5.6	計					施工歩掛コード		WB230920		名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土木一般世話役		人		表5.9	とび工		㎡		〃	特殊作業員		㎡		〃	普通作業員		㎡		〃	トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 4.9t吊	日		表5.9 機械賃料	諸 雑 費		式	1	表5.9	計					6. 内訳書及び単価表 (1) 深礎杭 1 本当り内訳書 <table><tr><td colspan="2">施工歩掛コード</td><td colspan="2">WB230910, WB230930, WB230920</td></tr><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単位</td><td>数量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>掘 削 土 留</td><td></td><td>本</td><td></td><td>単価表(2)</td></tr><tr><td>掘削作業設備組立解体工</td><td>やぐら装置</td><td>式</td><td>1</td><td>単価表(3) ※C工法のみ計上</td></tr><tr><td>杭 内 足 場 工</td><td>手摺先行型枠組足場</td><td>掛㎡</td><td>2</td><td></td></tr><tr><td>鉄 筋 工</td><td></td><td>t</td><td></td><td></td></tr><tr><td>コンクリート工</td><td></td><td>㎡</td><td>3</td><td>別途計上 (CB230960)</td></tr><tr><td>グラウト工</td><td></td><td>㎡</td><td></td><td>単価表(4)</td></tr><tr><td>土 留 材</td><td>ライナープレート</td><td>m</td><td></td><td></td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> (2) 掘削土留 1 本当り単価表 <table><tr><td colspan="2">施工歩掛コード</td><td colspan="2">WB230910</td></tr><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単位</td><td>数量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>土木一般世話役</td><td></td><td>人</td><td>d×M</td><td></td></tr><tr><td>トンネル特殊工</td><td></td><td>㎡</td><td>d×M</td><td>d：深礎杭1本当り施工日数 M：表4.1の人員</td></tr><tr><td>特殊作業員</td><td></td><td>㎡</td><td>d×M</td><td></td></tr><tr><td>普通作業員</td><td></td><td>㎡</td><td>d×M</td><td></td></tr><tr><td>クラムシェル運転</td><td>油圧クラムシェル・ テレスコピック式・ 排出ガス対策型(2014年規制第1 次基準値) バケット容量(平積0.4㎡) 0.26 ～0.3㎡</td><td>日</td><td>d</td><td>※A工法のみ計上 機械損料</td></tr><tr><td>ラフテレーンクレーン</td><td>油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2011年規制) 最大吊上能力25t吊</td><td>㎡</td><td>d</td><td>※A、B工法のみ計上 機械賃料</td></tr><tr><td>小型バックホウ (クローラ型)運転</td><td>電動式(有線)・標準型 バケット容量0.03㎡(平積 0.021㎡)</td><td>㎡</td><td>d</td><td>※B工法-1のみ計上 機械損料</td></tr><tr><td>小型バックホウ (クローラ型)運転</td><td>超小旋回型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) バケット容量0.11㎡(平積 0.08㎡)</td><td>㎡</td><td>d</td><td>※B工法-2のみ計上 機械賃料</td></tr><tr><td>やぐら装置</td><td>簡易やぐら(モータウインチ 付) 吊能力0.5t</td><td>㎡</td><td>d</td><td>※C工法のみ計上 d＝1.5×d d：深礎杭1本当り供用日数 機械損料</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表5.6</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table></table>	施工歩掛コード		WB230910, WB230930, WB230920		名 称	規 格	単位	数量	摘 要	掘 削 土 留		本		単価表(2)	掘削作業設備組立解体工	やぐら装置	式	1	単価表(3) ※C工法のみ計上	杭 内 足 場 工	手摺先行型枠組足場	掛㎡	2		鉄 筋 工		t			コンクリート工		㎡	3	別途計上 (CB230960)	グラウト工		㎡		単価表(4)	土 留 材	ライナープレート	m			計					施工歩掛コード		WB230910		名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土木一般世話役		人	d×M		トンネル特殊工		㎡	d×M	d：深礎杭1本当り施工日数 M：表4.1の人員	特殊作業員		㎡	d×M		普通作業員		㎡	d×M		クラムシェル運転	油圧クラムシェル・ テレスコピック式・ 排出ガス対策型(2014年規制第1 次基準値) バケット容量(平積 0.4㎡) 0.26 ～0.3㎡	日	d	※A工法のみ計上 機械損料	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2011年規制) 最大吊上能力25t吊	㎡	d	※A、B工法のみ計上 機械賃料	小型バックホウ (クローラ型)運転	電動式(有線)・標準型 バケット容量0.03㎡(平積 0.021㎡)	㎡	d	※B工法-1のみ計上 機械損料	小型バックホウ (クローラ型)運転	超小旋回型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) バケット容量0.11㎡(平積 0.08㎡)	㎡	d	※B工法-2のみ計上 機械賃料	やぐら装置	簡易やぐら(モータウインチ 付) 吊能力0.5t	㎡	d	※C工法のみ計上 d＝1.5×d d：深礎杭1本当り供用日数 機械損料	諸 雑 費		式	1	表5.6	計					記載の修正削除 (歩掛改定に伴う)
施工歩掛コード		WB230910, WB230930, WB230920																																																																																																																																																																																																																																																																																	
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																																															
掘 削 土 留		本		単価表(2)																																																																																																																																																																																																																																																																															
掘削作業設備組立解体工	やぐら装置	式	1	単価表(3) ※C工法のみ計上																																																																																																																																																																																																																																																																															
杭 内 足 場 工	手摺先行型枠組足場	掛㎡																																																																																																																																																																																																																																																																																	
鉄 筋 工		t																																																																																																																																																																																																																																																																																	
コンクリート工		㎡		別途計上 (CB230960)																																																																																																																																																																																																																																																																															
グラウト工		㎡		単価表(4)																																																																																																																																																																																																																																																																															
土 留 材	ライナープレート	m																																																																																																																																																																																																																																																																																	
計																																																																																																																																																																																																																																																																																			
施工歩掛コード		WB230910																																																																																																																																																																																																																																																																																	
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																																															
土木一般世話役		人	d×M																																																																																																																																																																																																																																																																																
トンネル特殊工		㎡	d×M	d：深礎杭1本当り施工日数 M：表4.1の人員																																																																																																																																																																																																																																																																															
特殊作業員		㎡	d×M																																																																																																																																																																																																																																																																																
普通作業員		㎡	d×M																																																																																																																																																																																																																																																																																
クラムシェル運転	油圧クラムシェル・ テレスコピック式・ 排出ガス対策型(第1次基準値) バケット容量(平積0.4㎡)	日	d	※A工法のみ計上 機械損料																																																																																																																																																																																																																																																																															
ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2011年規制) 25t吊	㎡	d	※A、B工法のみ計上 機械賃料																																																																																																																																																																																																																																																																															
小型バックホウ (クローラ型)運転	電動式 山積0.03㎡(平積0.021㎡)	㎡	d	※B工法-1のみ計上 機械損料																																																																																																																																																																																																																																																																															
小型バックホウ (クローラ型)運転	超小旋回型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.11㎡(平積0.08㎡)	㎡	d	※B工法-2のみ計上 機械賃料																																																																																																																																																																																																																																																																															
やぐら装置	簡易やぐら(モータウインチ付) 能力0.5t	㎡	d	※C工法のみ計上 d＝1.5×d d：深礎杭1本当り供用日数 機械損料																																																																																																																																																																																																																																																																															
諸 雑 費		式	1	表5.6																																																																																																																																																																																																																																																																															
計																																																																																																																																																																																																																																																																																			
施工歩掛コード		WB230920																																																																																																																																																																																																																																																																																	
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																																															
土木一般世話役		人		表5.9																																																																																																																																																																																																																																																																															
とび工		㎡		〃																																																																																																																																																																																																																																																																															
特殊作業員		㎡		〃																																																																																																																																																																																																																																																																															
普通作業員		㎡		〃																																																																																																																																																																																																																																																																															
トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 4.9t吊	日		表5.9 機械賃料																																																																																																																																																																																																																																																																															
諸 雑 費		式	1	表5.9																																																																																																																																																																																																																																																																															
計																																																																																																																																																																																																																																																																																			
施工歩掛コード		WB230910, WB230930, WB230920																																																																																																																																																																																																																																																																																	
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																																															
掘 削 土 留		本		単価表(2)																																																																																																																																																																																																																																																																															
掘削作業設備組立解体工	やぐら装置	式	1	単価表(3) ※C工法のみ計上																																																																																																																																																																																																																																																																															
杭 内 足 場 工	手摺先行型枠組足場	掛㎡	2																																																																																																																																																																																																																																																																																
鉄 筋 工		t																																																																																																																																																																																																																																																																																	
コンクリート工		㎡	3	別途計上 (CB230960)																																																																																																																																																																																																																																																																															
グラウト工		㎡		単価表(4)																																																																																																																																																																																																																																																																															
土 留 材	ライナープレート	m																																																																																																																																																																																																																																																																																	
計																																																																																																																																																																																																																																																																																			
施工歩掛コード		WB230910																																																																																																																																																																																																																																																																																	
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																																															
土木一般世話役		人	d×M																																																																																																																																																																																																																																																																																
トンネル特殊工		㎡	d×M	d：深礎杭1本当り施工日数 M：表4.1の人員																																																																																																																																																																																																																																																																															
特殊作業員		㎡	d×M																																																																																																																																																																																																																																																																																
普通作業員		㎡	d×M																																																																																																																																																																																																																																																																																
クラムシェル運転	油圧クラムシェル・ テレスコピック式・ 排出ガス対策型(2014年規制第1 次基準値) バケット容量(平積 0.4㎡) 0.26 ～0.3㎡	日	d	※A工法のみ計上 機械損料																																																																																																																																																																																																																																																																															
ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2011年規制) 最大吊上能力25t吊	㎡	d	※A、B工法のみ計上 機械賃料																																																																																																																																																																																																																																																																															
小型バックホウ (クローラ型)運転	電動式(有線)・標準型 バケット容量0.03㎡(平積 0.021㎡)	㎡	d	※B工法-1のみ計上 機械損料																																																																																																																																																																																																																																																																															
小型バックホウ (クローラ型)運転	超小旋回型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) バケット容量0.11㎡(平積 0.08㎡)	㎡	d	※B工法-2のみ計上 機械賃料																																																																																																																																																																																																																																																																															
やぐら装置	簡易やぐら(モータウインチ 付) 吊能力0.5t	㎡	d	※C工法のみ計上 d＝1.5×d d：深礎杭1本当り供用日数 機械損料																																																																																																																																																																																																																																																																															
諸 雑 費		式	1	表5.6																																																																																																																																																																																																																																																																															
計																																																																																																																																																																																																																																																																																			
積算上の注意事項				(控え頁) 6／8																																																																																																																																																																																																																																																																															

工 種	深礎工
-----	-----

改正理由

一部改正

現行

改正

備考

(4) グラウト注入10m²当り単価表

施工歩掛コード		WB230930		
名称	規格	単位	数量	摘要
土木一般世話役		人		表5.8
特殊作業員		人		〃
普通作業員		人		〃
グラウト材	注入用モルタル	m ³	11.4	
諸雑費		式	1	表5.8
計				

(5) 土留材材料費（撤去しない埋設）10m当り単価表

施工歩掛コード		WB230940		
名称	規格	単位	数量	摘要
ライナープレート		m	10	
諸雑費		式	1	
計				

(6) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
クラムシェル	油圧クラムシェル テレスコピック式・ 排出ガス対策型(第1次基準値) バケット容量(平積) 0.4m ³	機－18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→42 機械損料数量→ 1.43
小型バックホウ (クローラ型)	電動式 山積0.03m ³ (平積0.021m ³)	機－25	(B工法-1) 電源→発動発電機(電力に関する経費) 機械損料数量→ 1.40
小型バックホウ (クローラ型)	超小旋回型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.11m ³ (平積0.08m ³)	機－16	(B工法-2) 燃料消費量→ 8.0 機械賃料数量→ 1.39

(3) 掘削作業設備組立解体工 杭1本当り単価表（C工法のみ計上）

施工歩掛コード		WB230920		
名称	規格	単位	数量	摘要
土木一般世話役		人		表5.9
とび工		人		〃
特殊作業員		人		〃
普通作業員		人		〃
トラククレーン	【トラククレーン・油圧伸縮ジブ型 最大吊上能力4.9t吊	日		表5.9 機械賃料
諸雑費		式	1	表5.9
計				

(4) グラウト注入10m³当り単価表

施工歩掛コード		WB230930		
名称	規格	単位	数量	摘要
土木一般世話役		人		表5.8
特殊作業員		人		〃
普通作業員		人		〃
グラウト材	注入用モルタル	m ³	11.4	
諸雑費		式	1	表5.8
計				

(6) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
クラムシェル	【油圧クラムシェル テレスコピック式・ 排出ガス対策型(2014年規制等 第1次基準値) バケット容量(平積) 0.26～ 0.3m ³	機－18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 31 機械損料数量→ 1.43
小型バックホウ (クローラ型)	【電動式(有線)・標準型】 バケット容量 0.03m³ 4.4m³ 0.01m³	機－25	(B工法-1) 電源→発動発電機(電力に関する経費) 機械損料数量→ 1.40
小型バックホウ (クローラ型)	【超小旋回型・ 排出ガス対策型(第3次基準 値)】 バケット容量 0.11m³ 0.08m³ 0.04m³	機－16	(B工法-2) 燃料消費量→ 8.0 機械賃料数量→ 1.39

前頁より移動

現行どおり

II-3-③-8

積算上の注意事項

記載の修正削除
(歩掛改定に伴う)

記載の修正削除
(歩掛改定に伴う)

記載の修正削除
(歩掛改定に伴う)

(控え頁)

7/8

工 種	深礎工
-----	-----

改 正 理 由		一部改正				改 正																																																																																																																																																																													
						現 行																																																																																																																																																																													
現 行						改 正						備 考																																																																																																																																																																							
7. 施工単価入力基準表 (1) 掘削土留 <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td>WB230910</td><td>施工単位</td><td>本</td></tr><tr><td>施工区分</td><td colspan="6">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="5">各 種</td><td>J 1</td><td>J 2</td><td>J 3</td><td>J 4</td><td>J 5</td><td>J 6</td></tr><tr><td>工法</td><td>杭径</td><td>砂・砂質粘性土・レキ質土の掘削長</td><td>岩塊・玉石混じり土・軟岩中硬岩・硬岩の掘削長</td><td>中硬岩・硬岩掘削の有無</td><td>ラフテレーンクレーン賃料補正係数</td></tr><tr><td>①A工法</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>②B工法－1</td><td></td><td></td><td></td><td>①無</td><td>①標準</td></tr><tr><td>③B工法－2</td><td>(m)</td><td>(m)</td><td>(m)</td><td>②有</td><td>②標準以外</td></tr><tr><td></td><td>④C工法</td><td>(実数入力)</td><td>(実数入力)</td><td>(実数入力)</td><td>(岩石割増)</td><td>(実数入力)</td></tr></table> (注) 1. J 1 条件で①または②を選択し、J 5 条件で②を選択した場合は、岩石割増（中硬岩・硬岩（1））として、運転1時間当り損料が補正される。 2. J 1 条件で③、④を選択した場合は、J 5 条件は選択する必要はない。 3. J 1 条件で④を選択した場合は、J 6 条件は選択する必要はない。 4. ラフテレーンクレーンの賃料補正（夜間補正）を行った場合は、労務費調整係数も入力すること。 (2) グラウト注入工 <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td>WB230930</td><td>施工単位</td><td>m³</td></tr></table> (注) 1. グラウト用パイプは、別途計上する。 2. 注入用モルタル単価（Y-0220000）[円／m³]を単価登録すること。 (3) 掘削作業設備組立・解体（C工法のみ） <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td>WB230920</td><td>施工単位</td><td>本</td></tr><tr><td>施工区分</td><td colspan="2">入 力 条 件</td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">各種</td><td>J 1</td><td>J 2</td><td></td></tr><tr><td>杭径種別（表7.1）</td><td>トラッククレーン賃料補正係数</td><td></td></tr><tr><td></td><td>①標準 ②標準以外（実数入力）</td><td></td></tr></table> (注) トラッククレーンの賃料補正（夜間補正）を行った場合は、労務費調整係数も入力すること。 表7.1 杭径種別 <table><tr><td>杭 径 (m)</td><td>入力番号</td></tr><tr><td>1.5以上2.5未満</td><td>①</td></tr><tr><td>2.5以上3.0未満</td><td>②</td></tr><tr><td>3.0以上4.5以下</td><td>③</td></tr></table> (4) 土留材材料費（撤去しない埋設） <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td>WB230940</td><td>施工単位</td><td>m</td></tr></table> (注) ライナープレート単価（Y-1662000）[円／m]を単価登録すること。						施工歩掛コード	WB230910	施工単位	本	施工区分	入 力 条 件						各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	工法	杭径	砂・砂質粘性土・レキ質土の掘削長	岩塊・玉石混じり土・軟岩中硬岩・硬岩の掘削長	中硬岩・硬岩掘削の有無	ラフテレーンクレーン賃料補正係数	①A工法						②B工法－1				①無	①標準	③B工法－2	(m)	(m)	(m)	②有	②標準以外		④C工法	(実数入力)	(実数入力)	(実数入力)	(岩石割増)	(実数入力)	施工歩掛コード	WB230930	施工単位	m ³	施工歩掛コード	WB230920	施工単位	本	施工区分	入 力 条 件			各種	J 1	J 2		杭径種別（表7.1）	トラッククレーン賃料補正係数			①標準 ②標準以外（実数入力）		杭 径 (m)	入力番号	1.5以上2.5未満	①	2.5以上3.0未満	②	3.0以上4.5以下	③	施工歩掛コード	WB230940	施工単位	m	7. 施工単価入力基準表 (1) 掘削土留 <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td>WB230910</td><td>施工単位</td><td>本</td></tr><tr><td>施工区分</td><td colspan="6">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="5">各 種</td><td>J 1</td><td>J 2</td><td>J 3</td><td>J 4</td><td>J 5</td><td>J 6</td></tr><tr><td>工法</td><td>杭径</td><td>砂・砂質粘性土・レキ質土の掘削長</td><td>岩塊・玉石混じり土・軟岩中硬岩・硬岩の掘削長</td><td>中硬岩・硬岩掘削の有無</td><td>ラフテレーンクレーン賃料補正係数</td></tr><tr><td>①A工法</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>②B工法－1</td><td></td><td></td><td></td><td>①無</td><td>①標準</td></tr><tr><td>③B工法－2</td><td>(m)</td><td>(m)</td><td>(m)</td><td>②有</td><td>②標準以外</td></tr><tr><td></td><td>④C工法</td><td>(実数入力)</td><td>(実数入力)</td><td>(実数入力)</td><td>(岩石割増)</td><td>(実数入力)</td></tr></table> (注) 1. J 1 条件で①または②を選択し、J 5 条件で②を選択した場合は、岩石割増（中硬岩・硬岩（1））として、運転1時間当り損料が補正される。 2. J 1 条件で③、④を選択した場合は、J 5 条件は選択する必要はない。 3. J 1 条件で④を選択した場合は、J 6 条件は選択する必要はない。 4. ラフテレーンクレーンの賃料補正（夜間補正）を行った場合は、労務費調整係数も入力すること。 (2) グラウト注入工 <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td>WB230930</td><td>施工単位</td><td>m³</td></tr></table> (注) 1. グラウト用パイプは、別途計上する。 2. 注入用モルタル単価（Y-0220000）[円／m³]を単価登録すること。 (3) 掘削作業設備組立・解体（C工法のみ） <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td>WB230920</td><td>施工単位</td><td>本</td></tr><tr><td>施工区分</td><td colspan="2">入 力 条 件</td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">各種</td><td>J 1</td><td>J 2</td><td></td></tr><tr><td>杭径種別（表7.1）</td><td>トラッククレーン賃料補正係数</td><td></td></tr><tr><td></td><td>①標準 ②標準以外（実数入力）</td><td></td></tr></table> (注) トラッククレーンの賃料補正（夜間補正）を行った場合は、労務費調整係数も入力すること。 表7.1 杭径種別 <table><tr><td>杭 径 (m)</td><td>入力番号</td></tr><tr><td>1.5以上2.5未満</td><td>①</td></tr><tr><td>2.5以上3.0未満</td><td>②</td></tr><tr><td>3.0以上4.5以下</td><td>③</td></tr></table> (4) 土留材材料費（撤去しない埋設） <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td>WB230940</td><td>施工単位</td><td>m</td></tr></table> (注) ライナープレート単価（Y-1662000）[円／m]を単価登録すること。						施工歩掛コード	WB230910	施工単位	本	施工区分	入 力 条 件						各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	工法	杭径	砂・砂質粘性土・レキ質土の掘削長	岩塊・玉石混じり土・軟岩中硬岩・硬岩の掘削長	中硬岩・硬岩掘削の有無	ラフテレーンクレーン賃料補正係数	①A工法						②B工法－1				①無	①標準	③B工法－2	(m)	(m)	(m)	②有	②標準以外		④C工法	(実数入力)	(実数入力)	(実数入力)	(岩石割増)	(実数入力)	施工歩掛コード	WB230930	施工単位	m ³	施工歩掛コード	WB230920	施工単位	本	施工区分	入 力 条 件			各種	J 1	J 2		杭径種別（表7.1）	トラッククレーン賃料補正係数			①標準 ②標準以外（実数入力）		杭 径 (m)	入力番号	1.5以上2.5未満	①	2.5以上3.0未満	②	3.0以上4.5以下	③	施工歩掛コード	WB230940	施工単位	m	記載の変更	
施工歩掛コード	WB230910	施工単位	本																																																																																																																																																																																
施工区分	入 力 条 件																																																																																																																																																																																		
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6																																																																																																																																																																													
	工法	杭径	砂・砂質粘性土・レキ質土の掘削長	岩塊・玉石混じり土・軟岩中硬岩・硬岩の掘削長	中硬岩・硬岩掘削の有無	ラフテレーンクレーン賃料補正係数																																																																																																																																																																													
	①A工法																																																																																																																																																																																		
	②B工法－1				①無	①標準																																																																																																																																																																													
	③B工法－2	(m)	(m)	(m)	②有	②標準以外																																																																																																																																																																													
	④C工法	(実数入力)	(実数入力)	(実数入力)	(岩石割増)	(実数入力)																																																																																																																																																																													
施工歩掛コード	WB230930	施工単位	m ³																																																																																																																																																																																
施工歩掛コード	WB230920	施工単位	本																																																																																																																																																																																
施工区分	入 力 条 件																																																																																																																																																																																		
各種	J 1	J 2																																																																																																																																																																																	
	杭径種別（表7.1）	トラッククレーン賃料補正係数																																																																																																																																																																																	
		①標準 ②標準以外（実数入力）																																																																																																																																																																																	
杭 径 (m)	入力番号																																																																																																																																																																																		
1.5以上2.5未満	①																																																																																																																																																																																		
2.5以上3.0未満	②																																																																																																																																																																																		
3.0以上4.5以下	③																																																																																																																																																																																		
施工歩掛コード	WB230940	施工単位	m																																																																																																																																																																																
施工歩掛コード	WB230910	施工単位	本																																																																																																																																																																																
施工区分	入 力 条 件																																																																																																																																																																																		
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6																																																																																																																																																																													
	工法	杭径	砂・砂質粘性土・レキ質土の掘削長	岩塊・玉石混じり土・軟岩中硬岩・硬岩の掘削長	中硬岩・硬岩掘削の有無	ラフテレーンクレーン賃料補正係数																																																																																																																																																																													
	①A工法																																																																																																																																																																																		
	②B工法－1				①無	①標準																																																																																																																																																																													
	③B工法－2	(m)	(m)	(m)	②有	②標準以外																																																																																																																																																																													
	④C工法	(実数入力)	(実数入力)	(実数入力)	(岩石割増)	(実数入力)																																																																																																																																																																													
施工歩掛コード	WB230930	施工単位	m ³																																																																																																																																																																																
施工歩掛コード	WB230920	施工単位	本																																																																																																																																																																																
施工区分	入 力 条 件																																																																																																																																																																																		
各種	J 1	J 2																																																																																																																																																																																	
	杭径種別（表7.1）	トラッククレーン賃料補正係数																																																																																																																																																																																	
		①標準 ②標準以外（実数入力）																																																																																																																																																																																	
杭 径 (m)	入力番号																																																																																																																																																																																		
1.5以上2.5未満	①																																																																																																																																																																																		
2.5以上3.0未満	②																																																																																																																																																																																		
3.0以上4.5以下	③																																																																																																																																																																																		
施工歩掛コード	WB230940	施工単位	m																																																																																																																																																																																
						現行どおり						記載の変更																																																																																																																																																																							
積算上の注意事項												(控え頁) 8／8																																																																																																																																																																							

工 種	コンクリート工(深礎工)
-----	--------------

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正	備 考
		現 行	
	③ー2 コンクリート工（深礎工） 1. 適 用 範 囲 深礎工における人力及び機械によるコンクリート打設に適用する。 2. 施 工 概 要 施工フローは、下記を標準とする。 打 設 準 備 → 打 設 → 締 固 め → 表 面 仕 上 → 養 生 （注）本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 3. コンクリート打設工法の選定 コンクリート打設工法の選定は、図3－1 及び図3－2を標準とするが、現場状況等を考慮し、これにより難しい場合は、別途考慮する。 スタート ↓ 設計日打設量 及び打設地上高さ 及び水平打設距離 ◇ 設計日打設量 V < 10m³/日かつ 1 ≤ H ≤ 1m → 人力打設 （図3－2 参照） → バックホウ （クレーン機能付）打設 ※吊り走行なし （図3－2 参照） → コンクリートポンプ車 打設 図3－1 コンクリート打設工法の選定(1) II-3-③-10	現行どおり （注）本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 図2－1 施工フロー 現行どおり	記載の変更
積算上の注意事項			（控え頁） 1／3

工 種	コンクリート工(深礎工)
-----	--------------

改 正 理 由	一部改正		改 正 現 行		
現 行			改 正	備 考	
打設地上高さ 4.5m超 4.5m以下 1.0m超 1.0m以下 0m －1.0m以上 －1.0m未満 －6.5m以上 －6.5m未満 適用範囲外 バックホウ (クレーン機能付) 打設 ただしL≦4.0m ※吊り走行なし 人力打設 (現場内小運搬15m以下) 10m3/日未満 バックホウ (クレーン機能付) 打設 ただしL≦2.0m ※吊り走行なし 適用範囲外 コンクリートポンプ車打設 コンクリートポンプ車打設 適用範囲外 適用範囲外 適用範囲外 適用範囲外 設計日打設量 図3－2 コンクリート打設工法の選定(2) 打設高さ (プラス側) 水平打設距離 打設高さ (マイナス側) 水平打設距離 (参考図)バックホウによるコンクリート打設範囲 Ⅱ-3-③-11			→ 現行どおり		記載の変更
打設高さ (プラス側) 水平打設距離 打設高さ (マイナス側) 水平打設距離 (参考図)バックホウによるコンクリート打設範囲 ※コンクリート打設地上高さは、プラス側・マイナス側ともにバックホウ設置面からの高さとする。					
積算上の注意事項				(控え頁) 2／3	

工 種	コンクリート工(深礎工)
-----	--------------

改 正 理 由		一部改正		改 正 現 行																																																																																																
現 行				改 正		備 考																																																																																														
(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表4. 4 コンクリート打設(深礎工) 代表機労材規格一覧 <table><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="4">機械</td><td></td><td>コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90～110 m3/h</td><td>ポンプ車打設の場合</td></tr><tr><td>K 1</td><td>バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2011 年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t</td><td>・賃料 ・バックホウ打設の場合</td></tr><tr><td>K 2</td><td>業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126 MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油</td><td>特殊養生(練炭, ジェットヒータ)の場合</td></tr><tr><td>K 3</td><td>ー</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>運転手 (特殊)</td><td>ポンプ車打設の場合, バックホウ打設の場合</td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C55%</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>軽油 バトロール給油</td><td>ポンプ車打設の場合, バックホウ打設の場合</td></tr><tr><td>Z 3</td><td>灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td><td>特殊養生(練炭, ジェットヒータ)の場合</td></tr><tr><td>Z 4</td><td>ー</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>ー</td><td></td></tr></table> II-3-㉓-14				項目		代表機労材規格	備考	機械		コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90～110 m3/h	ポンプ車打設の場合	K 1	バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2011 年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t	・賃料 ・バックホウ打設の場合	K 2	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126 MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油	特殊養生(練炭, ジェットヒータ)の場合	K 3	ー		労務	R 1	普通作業員		R 2	特殊作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	運転手 (特殊)	ポンプ車打設の場合, バックホウ打設の場合	材料	Z 1	生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C55%		Z 2	軽油 バトロール給油	ポンプ車打設の場合, バックホウ打設の場合	Z 3	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(練炭, ジェットヒータ)の場合	Z 4	ー		市場単価	S	ー		(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表4. 4 コンクリート打設(深礎工) 代表機労材規格一覧 <table><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="4">機械</td><td></td><td>コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90～110 m3/h</td><td>ポンプ車打設の場合</td></tr><tr><td>K 1</td><td>バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2011 年規制)]パケット容量 0.8m3 吊能力 2.9t</td><td>・賃料 ・バックホウ打設の場合</td></tr><tr><td>K 2</td><td>業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126 MJ/h (30,100kcal/h) 燃料識別 灯油</td><td>特殊養生(練炭, ジェットヒータ)の場合</td></tr><tr><td>K 3</td><td>ー</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>運転手 (特殊)</td><td>ポンプ車打設の場合, バックホウ打設の場合</td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C55%</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>軽油 バトロール給油</td><td>ポンプ車打設の場合, バックホウ打設の場合</td></tr><tr><td>Z 3</td><td>灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td><td>特殊養生(練炭, ジェットヒータ)の場合</td></tr><tr><td>Z 4</td><td>ー</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>ー</td><td></td></tr></table>		項目		代表機労材規格	備考	機械		コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90～110 m3/h	ポンプ車打設の場合	K 1	バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2011 年規制)] パケット容量 0.8m3 吊能力 2.9t	・賃料 ・バックホウ打設の場合	K 2	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126 MJ/h (30,100kcal/h) 燃料識別 灯油	特殊養生(練炭, ジェットヒータ)の場合	K 3	ー		労務	R 1	普通作業員		R 2	特殊作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	運転手 (特殊)	ポンプ車打設の場合, バックホウ打設の場合	材料	Z 1	生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C55%		Z 2	軽油 バトロール給油	ポンプ車打設の場合, バックホウ打設の場合	Z 3	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(練炭, ジェットヒータ)の場合	Z 4	ー		市場単価	S	ー		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
項目		代表機労材規格	備考																																																																																																	
機械		コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90～110 m3/h	ポンプ車打設の場合																																																																																																	
	K 1	バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2011 年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t	・賃料 ・バックホウ打設の場合																																																																																																	
	K 2	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126 MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油	特殊養生(練炭, ジェットヒータ)の場合																																																																																																	
	K 3	ー																																																																																																		
労務	R 1	普通作業員																																																																																																		
	R 2	特殊作業員																																																																																																		
	R 3	土木一般世話役																																																																																																		
	R 4	運転手 (特殊)	ポンプ車打設の場合, バックホウ打設の場合																																																																																																	
材料	Z 1	生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C55%																																																																																																		
	Z 2	軽油 バトロール給油	ポンプ車打設の場合, バックホウ打設の場合																																																																																																	
	Z 3	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(練炭, ジェットヒータ)の場合																																																																																																	
	Z 4	ー																																																																																																		
市場単価	S	ー																																																																																																		
項目		代表機労材規格	備考																																																																																																	
機械		コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90～110 m3/h	ポンプ車打設の場合																																																																																																	
	K 1	バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2011 年規制)] パケット容量 0.8m3 吊能力 2.9t	・賃料 ・バックホウ打設の場合																																																																																																	
	K 2	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126 MJ/h (30,100kcal/h) 燃料識別 灯油	特殊養生(練炭, ジェットヒータ)の場合																																																																																																	
	K 3	ー																																																																																																		
労務	R 1	普通作業員																																																																																																		
	R 2	特殊作業員																																																																																																		
	R 3	土木一般世話役																																																																																																		
	R 4	運転手 (特殊)	ポンプ車打設の場合, バックホウ打設の場合																																																																																																	
材料	Z 1	生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C55%																																																																																																		
	Z 2	軽油 バトロール給油	ポンプ車打設の場合, バックホウ打設の場合																																																																																																	
	Z 3	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(練炭, ジェットヒータ)の場合																																																																																																	
	Z 4	ー																																																																																																		
市場単価	S	ー																																																																																																		
積算上の注意事項		(控え頁) 3／3																																																																																																		

工 種	ニューマチックケーソン工
-----	--------------

改 正 理 由	一部改正	改 正 現 行														
現 行	改 正	備 考														
前頁から移動	2ー2 施工フロー 施工フローは、下記を標準とする。 (注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 3. 掘削工法及び艦装 掘削工法及び艦装は、次表を標準とする。 <table><tr><th colspan="4">表3.1 掘削工法及び艦装数</th></tr><tr><th>ケーソン1基の掘削面積</th><th>工 法</th><th>艦装数</th><th>艦 装 内 訳</th></tr><tr><td>40m²以上300m²未満</td><td>機械掘削</td><td>2</td><td>マンロック（空気減圧対応型）又はマンロック（酸素減圧対応型）1艦装, マテリアルロック1艦装</td></tr></table> 記載の修正削除 (歩掛改定に伴う) II-3-④-1 <tr><td>積算上の注意事項</td><td></td><td>(控え頁) 2 / 45</td></tr>	表3.1 掘削工法及び艦装数				ケーソン1基の掘削面積	工 法	艦装数	艦 装 内 訳	40m²以上300m²未満	機械掘削	2	マンロック（空気減圧対応型）又はマンロック（酸素減圧対応型）1艦装, マテリアルロック1艦装	積算上の注意事項		(控え頁) 2 / 45
表3.1 掘削工法及び艦装数																
ケーソン1基の掘削面積	工 法	艦装数	艦 装 内 訳													
40m²以上300m²未満	機械掘削	2	マンロック（空気減圧対応型）又はマンロック（酸素減圧対応型）1艦装, マテリアルロック1艦装													
積算上の注意事項		(控え頁) 2 / 45														

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行																																																																																																																																																																																																																																																								
現 行				改 正				備 考																																																																																																																																																																																																																																																						
4.機 種 の 選 定 機械・規格は、次表を標準とする。 減圧方法が空気減圧を行う場合に空気減圧対応型を選定し、酸素減圧対応型を計上しない。また、減圧方法が酸素減圧を行う場合に酸素減圧対応型を選定し、空気減圧対応型を計上しない。 表4.1 機種の選定（ケーソン1基当り） <table><tr><th>種別</th><th>機 械 名</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td rowspan="2">排土設備</td><td>クローラクレーン</td><td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値) 50 t 吊</td><td>台</td><td>1</td><td>(注) 1</td></tr><tr><td>バ ケ ッ ト</td><td>1.0m³級</td><td>個</td><td>2</td><td>1マテリアルロックにつき2個</td></tr><tr><td rowspan="12">機 装 設 備</td><td>土 砂 ホ ッ パ</td><td>10m³級</td><td>基</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>マテリアルロック</td><td>通過可能バケット1.0m³級 径×長さφ1.8～1.9×5.5m級 圧力0.4MPa</td><td>#</td><td>1</td><td>機械掘削1基</td></tr><tr><td>マン ロ ッ ク (空気減圧対応型)</td><td>立型10～12人用 圧力0.4MPa</td><td>#</td><td>1</td><td>暖房、自記気圧計、自動換気装置を含む</td></tr><tr><td>マン ロ ッ ク (酸素減圧対応型)</td><td>立型8人用 圧力0.4MPa</td><td>#</td><td>1</td><td>暖房、自記気圧計、自動換気装置、酸素・二酸化炭素計測装置及び濃度表示器を含む</td></tr><tr><td>ケーソン用エレベータ (内 圧 用)</td><td>3人用 圧力0.4MPa</td><td>#</td><td>1</td><td>必要に応じて別途計上</td></tr><tr><td>ケーソン用エレベータシャフト (内 圧 用)</td><td>3人用 圧力0.4MPa</td><td>式</td><td>1</td><td>#</td></tr><tr><td>マテリアルシャフト</td><td>径×長さφ1.2m×2.0m級 圧力0.4MPa</td><td>#</td><td>1</td><td>必要数量</td></tr><tr><td>マン シ ャ フ ト</td><td>径×長さφ1.2m×2.0m級 圧力0.4MPa</td><td>#</td><td>1</td><td>#</td></tr><tr><td>スペシャルシャフト</td><td>径×長さφ1.4m×0.5m級 圧力0.4MPa</td><td>個</td><td>2</td><td></td></tr><tr><td>ボ ッ ト ム ド ア</td><td>径1.4m級 圧力0.4MPa</td><td>#</td><td>2</td><td></td></tr><tr><td>自動圧力調整装置</td><td>径φ100mm級 圧力0.4MPa</td><td>#</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>高 圧 ホ ー ス</td><td>径φ100mm 長さ10m 圧力1.0MPa</td><td>本</td><td>7</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">掘削設備</td><td>送 気 管</td><td>径 φ 100mm 長 さ 5.5m 圧 力 1.0MPa</td><td>m</td><td></td><td>ゲージ設備からケーソンまで</td></tr><tr><td>照 明 設 備</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">安全設備</td><td>天 井 走 行 式 シ ン</td><td>バケット容量 山積0.15m³(平積0.13m³)</td><td>台</td><td>2</td><td>掘削面積10m²以上100m²未満の場合 掘削面積100m²以上300m²未満の場合</td></tr><tr><td>走 行 レ ー ル (天井走行式シヨベル用)</td><td>長さ2m級×1本</td><td>式</td><td>1</td><td>必要数量</td></tr><tr><td rowspan="2">安全管理</td><td>酸 素 集 合 装 置</td><td>〔マンロック、ホスピタルロック用〕酸素容量28m³</td><td>基</td><td>1</td><td>必要に応じて別途計上 (注)2</td></tr><tr><td>酸 素 呼 吸 装 置</td><td></td><td>台</td><td>10</td><td>必要に応じて別途計上 (注)2</td></tr><tr><td rowspan="5">安全管理・連絡設備</td><td>ガ ス 検 知 器</td><td>携帯用</td><td>個</td><td>1</td><td>(注) 3</td></tr><tr><td>ガ ス 検 知 器 (ニューマチックケーソン用)</td><td>〔3点 (酸素、H₂, H₂S) 計測用〕 〔5点 (酸素、H₂, H₂S, CO, CO₂) 計測用〕</td><td>台</td><td>1</td><td>(注) 3, 4</td></tr><tr><td>電話又はインターホン</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>(注) 3</td></tr><tr><td>内 線</td><td></td><td>#</td><td>1</td><td>#</td></tr><tr><td>内 線</td><td></td><td>#</td><td>1</td><td>#</td></tr></table> (注)1. クローラクレーンは、賃料とする。 2. 酸素減圧を行う場合、酸素集合装置、酸素呼吸装置について、共通仮設費の安全費で別途計上する。 3. 安全管理・連絡設備は、共通仮設費（率分）に含まれる。 4. ガス検知器（ニューマチックケーソン用）は、現場条件により3点または5点計測用を用いる。 5. 現場条件により上表により難しい場合は別途考慮する。 II-3-①-2				種別	機 械 名	規 格	単位	数 量	摘 要	排土設備	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値) 50 t 吊	台	1	(注) 1	バ ケ ッ ト	1.0m ³ 級	個	2	1マテリアルロックにつき2個	機 装 設 備	土 砂 ホ ッ パ	10m ³ 級	基	1		マテリアルロック	通過可能バケット1.0m ³ 級 径×長さφ1.8～1.9×5.5m級 圧力0.4MPa	#	1	機械掘削1基	マン ロ ッ ク (空気減圧対応型)	立型10～12人用 圧力0.4MPa	#	1	暖房、自記気圧計、自動換気装置を含む	マン ロ ッ ク (酸素減圧対応型)	立型8人用 圧力0.4MPa	#	1	暖房、自記気圧計、自動換気装置、酸素・二酸化炭素計測装置及び濃度表示器を含む	ケーソン用エレベータ (内 圧 用)	3人用 圧力0.4MPa	#	1	必要に応じて別途計上	ケーソン用エレベータシャフト (内 圧 用)	3人用 圧力0.4MPa	式	1	#	マテリアルシャフト	径×長さφ1.2m×2.0m級 圧力0.4MPa	#	1	必要数量	マン シ ャ フ ト	径×長さφ1.2m×2.0m級 圧力0.4MPa	#	1	#	スペシャルシャフト	径×長さφ1.4m×0.5m級 圧力0.4MPa	個	2		ボ ッ ト ム ド ア	径1.4m級 圧力0.4MPa	#	2		自動圧力調整装置	径φ100mm級 圧力0.4MPa	#	1		高 圧 ホ ー ス	径φ100mm 長さ10m 圧力1.0MPa	本	7		掘削設備	送 気 管	径 φ 100mm 長 さ 5.5m 圧 力 1.0MPa	m		ゲージ設備からケーソンまで	照 明 設 備		式	1		安全設備	天 井 走 行 式 シ ン	バケット容量 山積0.15m ³ (平積0.13m ³)	台	2	掘削面積10m ² 以上100m ² 未満の場合 掘削面積100m ² 以上300m ² 未満の場合	走 行 レ ー ル (天井走行式シヨベル用)	長さ2m級×1本	式	1	必要数量	安全管理	酸 素 集 合 装 置	〔マンロック、ホスピタルロック用〕酸素容量28m ³	基	1	必要に応じて別途計上 (注)2	酸 素 呼 吸 装 置		台	10	必要に応じて別途計上 (注)2	安全管理・連絡設備	ガ ス 検 知 器	携帯用	個	1	(注) 3	ガ ス 検 知 器 (ニューマチックケーソン用)	〔3点 (酸素、H ₂ , H ₂ S) 計測用〕 〔5点 (酸素、H ₂ , H ₂ S, CO, CO ₂) 計測用〕	台	1	(注) 3, 4	電話又はインターホン		式	1	(注) 3	内 線		#	1	#	内 線		#	1	#	4.機 種 の 選 定 機械・規格は、次表を標準とする。 減圧方法が空気減圧のみの場合は空気減圧対応型を選定する。酸素減圧対応型を計上しない。 また、空気減圧から減圧方法が酸素減圧に切り替える場合は行う場合に酸素減圧対応型を選定し、空気減圧対応型は計上しない。 天井走行式シヨベルについて、すべて有人掘削で行う場合には通常型を選定し、掘進途中から無人掘削を行う場合には、当初から遠隔操縦式を選定し、遠隔操作用設備も計上する。 表4.1 (1) 機種の選定（ケーソン1基当り） <table><tr><th>種別</th><th>機 械 名</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>共通設備</td><td>クローラクレーン</td><td>【油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制)】 最大吊上能力70t 吊</td><td>台</td><td>1</td><td>(注) 1 掘削掘土、載装設備組立解体、仮設備組立解体、足場設置撤去で使用</td></tr></table> (注) 1. クローラクレーンは、賃料とする。 2. 現場条件により上表により難しい場合は、別途考慮する。 表4.1 (2) 機種の選定（ケーソン1基当り） <table><tr><th>種別</th><th>機 械 名</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>排土設備</td><td>バ ケ ッ ト</td><td>バケット容量1.0m³級</td><td>個</td><td>2</td><td>1マテリアルロックにつき2個</td></tr><tr><td></td><td>土 砂 ホ ッ パ</td><td>ホッパ投入容量10m³級</td><td>基</td><td>1</td><td></td></tr></table> (注) 1. 現場条件により上表により難しい場合は、別途考慮する。 表4.1 (3) 機種の選定（ケーソン1基当り） <table><tr><th>種別</th><th>機 械 名</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td rowspan="12">機 装 設 備</td><td>マテリアルロック</td><td>通過可能バケット1.0m³ 内径φ1,800～1,900mm 長さ5.5m最大圧力0.4MPa</td><td>#</td><td>1</td><td>機械掘削1基</td></tr><tr><td>マテリアルロック用騒音対策設備 (Ⅱ型)</td><td>〔Ⅱ型〕 騒音低減率35%相当</td><td>#</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>マン ロ ッ ク (空気減圧対応型)</td><td>〔立型〕 収容人員12人 最大圧力0.4MPa</td><td>#</td><td>1</td><td>暖房、自記気圧計、自動換気装置を含む</td></tr><tr><td>マン ロ ッ ク (酸素減圧対応型)</td><td>〔立型〕 収容人員8人 最大圧力0.4MPa</td><td>#</td><td>1</td><td>暖房、自記気圧計、自動換気装置、酸素・二酸化炭素計測装置及び濃度表示器を含む</td></tr><tr><td>ケーソン用エレベータ (内 圧 用)</td><td>〔3人用〕 最大圧力0.4MPa</td><td>#</td><td>1</td><td>必要に応じて別途計上</td></tr><tr><td>ケーソン用エレベータシャフト (内 圧 用)</td><td>〔3人用〕 最大圧力0.4MPa</td><td>式</td><td>1</td><td>#</td></tr><tr><td>マテリアルシャフト</td><td>内径φ1,200mm長さ2.0m 最大圧力0.4MPa</td><td>#</td><td>1</td><td>必要数量</td></tr><tr><td>マン シ ャ フ ト</td><td>内径φ1,200mm長さ2.0m 最大圧力0.4MPa</td><td>#</td><td>1</td><td>#</td></tr><tr><td>スペシャルシャフト</td><td>内径φ1,400mm長さ0.5m 最大圧力0.4MPa</td><td>個</td><td>2</td><td></td></tr><tr><td>ボ ッ ト ム ド ア</td><td>内径φ1,400mm最大圧力0.4MPa</td><td>#</td><td>2</td><td></td></tr><tr><td>自動圧力調整装置</td><td>送気管径φ100mm最大圧力0.4MPa</td><td>#</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>高 圧 ホ ー ス</td><td>径φ100mm 長さ10m 最大圧力1.0MPa</td><td>本</td><td>7</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">掘削設備</td><td>送 気 管</td><td>径 φ 100mm 長 さ 5.5m 最大圧力1.0MPa</td><td>m</td><td></td><td>ゲージ設備から作業室まで</td></tr><tr><td>照 明 設 備</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr></table>				種別	機 械 名	規 格	単位	数 量	摘 要	共通設備	クローラクレーン	【油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制)】 最大吊上能力70t 吊	台	1	(注) 1 掘削掘土、載装設備組立解体、仮設備組立解体、足場設置撤去で使用	種別	機 械 名	規 格	単位	数 量	摘 要	排土設備	バ ケ ッ ト	バケット容量1.0m ³ 級	個	2	1マテリアルロックにつき2個		土 砂 ホ ッ パ	ホッパ投入容量10m ³ 級	基	1		種別	機 械 名	規 格	単位	数 量	摘 要	機 装 設 備	マテリアルロック	通過可能バケット1.0m ³ 内径φ1,800～1,900mm 長さ5.5m最大圧力0.4MPa	#	1	機械掘削1基	マテリアルロック用騒音対策設備 (Ⅱ型)	〔Ⅱ型〕 騒音低減率35%相当	#	1		マン ロ ッ ク (空気減圧対応型)	〔立型〕 収容人員12人 最大圧力0.4MPa	#	1	暖房、自記気圧計、自動換気装置を含む	マン ロ ッ ク (酸素減圧対応型)	〔立型〕 収容人員8人 最大圧力0.4MPa	#	1	暖房、自記気圧計、自動換気装置、酸素・二酸化炭素計測装置及び濃度表示器を含む	ケーソン用エレベータ (内 圧 用)	〔3人用〕 最大圧力0.4MPa	#	1	必要に応じて別途計上	ケーソン用エレベータシャフト (内 圧 用)	〔3人用〕 最大圧力0.4MPa	式	1	#	マテリアルシャフト	内径φ1,200mm長さ2.0m 最大圧力0.4MPa	#	1	必要数量	マン シ ャ フ ト	内径φ1,200mm長さ2.0m 最大圧力0.4MPa	#	1	#	スペシャルシャフト	内径φ1,400mm長さ0.5m 最大圧力0.4MPa	個	2		ボ ッ ト ム ド ア	内径φ1,400mm最大圧力0.4MPa	#	2		自動圧力調整装置	送気管径φ100mm最大圧力0.4MPa	#	1		高 圧 ホ ー ス	径φ100mm 長さ10m 最大圧力1.0MPa	本	7		掘削設備	送 気 管	径 φ 100mm 長 さ 5.5m 最大圧力1.0MPa	m		ゲージ設備から作業室まで	照 明 設 備		式	1		記載の修正削除 (歩掛改定に伴う)	
種別	機 械 名	規 格	単位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																									
排土設備	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値) 50 t 吊	台	1	(注) 1																																																																																																																																																																																																																																																									
	バ ケ ッ ト	1.0m ³ 級	個	2	1マテリアルロックにつき2個																																																																																																																																																																																																																																																									
機 装 設 備	土 砂 ホ ッ パ	10m ³ 級	基	1																																																																																																																																																																																																																																																										
	マテリアルロック	通過可能バケット1.0m ³ 級 径×長さφ1.8～1.9×5.5m級 圧力0.4MPa	#	1	機械掘削1基																																																																																																																																																																																																																																																									
	マン ロ ッ ク (空気減圧対応型)	立型10～12人用 圧力0.4MPa	#	1	暖房、自記気圧計、自動換気装置を含む																																																																																																																																																																																																																																																									
	マン ロ ッ ク (酸素減圧対応型)	立型8人用 圧力0.4MPa	#	1	暖房、自記気圧計、自動換気装置、酸素・二酸化炭素計測装置及び濃度表示器を含む																																																																																																																																																																																																																																																									
	ケーソン用エレベータ (内 圧 用)	3人用 圧力0.4MPa	#	1	必要に応じて別途計上																																																																																																																																																																																																																																																									
	ケーソン用エレベータシャフト (内 圧 用)	3人用 圧力0.4MPa	式	1	#																																																																																																																																																																																																																																																									
	マテリアルシャフト	径×長さφ1.2m×2.0m級 圧力0.4MPa	#	1	必要数量																																																																																																																																																																																																																																																									
	マン シ ャ フ ト	径×長さφ1.2m×2.0m級 圧力0.4MPa	#	1	#																																																																																																																																																																																																																																																									
	スペシャルシャフト	径×長さφ1.4m×0.5m級 圧力0.4MPa	個	2																																																																																																																																																																																																																																																										
	ボ ッ ト ム ド ア	径1.4m級 圧力0.4MPa	#	2																																																																																																																																																																																																																																																										
	自動圧力調整装置	径φ100mm級 圧力0.4MPa	#	1																																																																																																																																																																																																																																																										
	高 圧 ホ ー ス	径φ100mm 長さ10m 圧力1.0MPa	本	7																																																																																																																																																																																																																																																										
掘削設備	送 気 管	径 φ 100mm 長 さ 5.5m 圧 力 1.0MPa	m		ゲージ設備からケーソンまで																																																																																																																																																																																																																																																									
	照 明 設 備		式	1																																																																																																																																																																																																																																																										
安全設備	天 井 走 行 式 シ ン	バケット容量 山積0.15m ³ (平積0.13m ³)	台	2	掘削面積10m ² 以上100m ² 未満の場合 掘削面積100m ² 以上300m ² 未満の場合																																																																																																																																																																																																																																																									
	走 行 レ ー ル (天井走行式シヨベル用)	長さ2m級×1本	式	1	必要数量																																																																																																																																																																																																																																																									
安全管理	酸 素 集 合 装 置	〔マンロック、ホスピタルロック用〕酸素容量28m ³	基	1	必要に応じて別途計上 (注)2																																																																																																																																																																																																																																																									
	酸 素 呼 吸 装 置		台	10	必要に応じて別途計上 (注)2																																																																																																																																																																																																																																																									
安全管理・連絡設備	ガ ス 検 知 器	携帯用	個	1	(注) 3																																																																																																																																																																																																																																																									
	ガ ス 検 知 器 (ニューマチックケーソン用)	〔3点 (酸素、H ₂ , H ₂ S) 計測用〕 〔5点 (酸素、H ₂ , H ₂ S, CO, CO ₂) 計測用〕	台	1	(注) 3, 4																																																																																																																																																																																																																																																									
	電話又はインターホン		式	1	(注) 3																																																																																																																																																																																																																																																									
	内 線		#	1	#																																																																																																																																																																																																																																																									
	内 線		#	1	#																																																																																																																																																																																																																																																									
種別	機 械 名	規 格	単位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																									
共通設備	クローラクレーン	【油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制)】 最大吊上能力70t 吊	台	1	(注) 1 掘削掘土、載装設備組立解体、仮設備組立解体、足場設置撤去で使用																																																																																																																																																																																																																																																									
種別	機 械 名	規 格	単位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																									
排土設備	バ ケ ッ ト	バケット容量1.0m ³ 級	個	2	1マテリアルロックにつき2個																																																																																																																																																																																																																																																									
	土 砂 ホ ッ パ	ホッパ投入容量10m ³ 級	基	1																																																																																																																																																																																																																																																										
種別	機 械 名	規 格	単位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																									
機 装 設 備	マテリアルロック	通過可能バケット1.0m ³ 内径φ1,800～1,900mm 長さ5.5m最大圧力0.4MPa	#	1	機械掘削1基																																																																																																																																																																																																																																																									
	マテリアルロック用騒音対策設備 (Ⅱ型)	〔Ⅱ型〕 騒音低減率35%相当	#	1																																																																																																																																																																																																																																																										
	マン ロ ッ ク (空気減圧対応型)	〔立型〕 収容人員12人 最大圧力0.4MPa	#	1	暖房、自記気圧計、自動換気装置を含む																																																																																																																																																																																																																																																									
	マン ロ ッ ク (酸素減圧対応型)	〔立型〕 収容人員8人 最大圧力0.4MPa	#	1	暖房、自記気圧計、自動換気装置、酸素・二酸化炭素計測装置及び濃度表示器を含む																																																																																																																																																																																																																																																									
	ケーソン用エレベータ (内 圧 用)	〔3人用〕 最大圧力0.4MPa	#	1	必要に応じて別途計上																																																																																																																																																																																																																																																									
	ケーソン用エレベータシャフト (内 圧 用)	〔3人用〕 最大圧力0.4MPa	式	1	#																																																																																																																																																																																																																																																									
	マテリアルシャフト	内径φ1,200mm長さ2.0m 最大圧力0.4MPa	#	1	必要数量																																																																																																																																																																																																																																																									
	マン シ ャ フ ト	内径φ1,200mm長さ2.0m 最大圧力0.4MPa	#	1	#																																																																																																																																																																																																																																																									
	スペシャルシャフト	内径φ1,400mm長さ0.5m 最大圧力0.4MPa	個	2																																																																																																																																																																																																																																																										
	ボ ッ ト ム ド ア	内径φ1,400mm最大圧力0.4MPa	#	2																																																																																																																																																																																																																																																										
	自動圧力調整装置	送気管径φ100mm最大圧力0.4MPa	#	1																																																																																																																																																																																																																																																										
	高 圧 ホ ー ス	径φ100mm 長さ10m 最大圧力1.0MPa	本	7																																																																																																																																																																																																																																																										
掘削設備	送 気 管	径 φ 100mm 長 さ 5.5m 最大圧力1.0MPa	m		ゲージ設備から作業室まで																																																																																																																																																																																																																																																									
	照 明 設 備		式	1																																																																																																																																																																																																																																																										
積算上の注意事項								(控え頁) 3 / 45																																																																																																																																																																																																																																																						

工 種	ニューマチックケーソン工
-----	--------------

改 正 理 由	一部改正	改 正																																																																																								
		現 行																																																																																								
現	行	改	正																																																																																							
			備 考																																																																																							
	前頁から移動	(注) 1. 酸素減圧を行う場合、酸素集合装置、酸素呼吸装置について、共通仮設費の安全費で別途計上する。 2. 現場条件により上表により難しい場合は、別途考慮する。 表4.1 (4) 機種を選定 (ケーソン1基当り) <table><tr><th>種別</th><th>機 械 名</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td rowspan="6">掘削設備</td><td rowspan="2">天井走行式 ショベル</td><td rowspan="2">バケット容量0.15m3</td><td rowspan="2">台</td><td>1</td><td>掘削面積40m2以上100m2未満の場合</td></tr><tr><td>2</td><td>掘削面積100m2以上300m2未満の場合</td></tr><tr><td rowspan="2">天井走行式 (遠隔操縦式)</td><td rowspan="2">〔中大断面用〕 バケット容量0.15m3</td><td rowspan="2">台</td><td>1</td><td>掘削面積40m2以上100m2未満の場合</td></tr><tr><td>2</td><td>掘削面積100m2以上300m2未満の場合</td></tr><tr><td rowspan="2">遠隔操作用設備</td><td rowspan="2">〔中大断面用〕 遠隔制御盤及び操作機器</td><td rowspan="2">台</td><td>1</td><td>掘削面積40m2以上100m2未満の場合 (注) 1</td></tr><tr><td>2</td><td>掘削面積100m2以上300m2未満の場合 (注) 1</td></tr><tr><td>走行レール (天井走行式ショベル用)</td><td>長さ2m×1本</td><td>式</td><td>1</td><td>必要数量</td></tr></table> (注) 1. 遠隔操作用設備の建屋が必要な場合には別途計上する。 2. 現場条件により上表により難しい場合は、別途考慮する。 表4.1 (5) 機種を選定 (ケーソン1基当り) <table><tr><th>種別</th><th>機 械 名</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td rowspan="2">安全設備</td><td>酸素集合装置</td><td>〔マンロック、ホスピタルロック用〕酸素容量28m3</td><td>基</td><td>1</td><td>(注)1</td></tr><tr><td>酸素呼吸装置</td><td>酸素呼吸マスクー式</td><td>台</td><td>10</td><td>マンロック用 (注)1</td></tr></table> (注) 1. 酸素減圧を行う場合、酸素集合装置、酸素呼吸装置について、共通仮設費の安全費で別途計上する。 2. 現場条件により上表により難しい場合は、別途考慮する。 表4.1 (6) 機種を選定 (ケーソン1基当り) <table><tr><th>種別</th><th>機 械 名</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td rowspan="6">安全管理・連絡設備</td><td>ガス検知器</td><td>〔携帯式〕 検知対象O2, HC, H2, H2S, CO</td><td>個</td><td>1</td><td>(注) 1</td></tr><tr><td>ガス検知器 (ニューマチックケーソン用)</td><td>検知対象 〔5点(酸素, H2, H2S, CO, CO2)計測用〕</td><td>台</td><td>1</td><td>〃</td></tr><tr><td>電話又はインターホン</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>〃</td></tr><tr><td>ブザー</td><td></td><td>〃</td><td>1</td><td>〃</td></tr><tr><td>案内TV</td><td></td><td>〃</td><td>1</td><td>〃</td></tr><tr><td>送気用 設備監視機器</td><td></td><td>〃</td><td>1</td><td></td></tr></table> (注) 1. 送気用設備監視機器を除く安全管理・連絡設備は、共通仮設費 (率分) に含まれる。 2. 現場条件により上表により難しい場合は、別途考慮する。	種別	機 械 名	規 格	単位	数 量	摘 要	掘削設備	天井走行式 ショベル	バケット容量0.15m3	台	1	掘削面積40m2以上100m2未満の場合	2	掘削面積100m2以上300m2未満の場合	天井走行式 (遠隔操縦式)	〔中大断面用〕 バケット容量0.15m3	台	1	掘削面積40m2以上100m2未満の場合	2	掘削面積100m2以上300m2未満の場合	遠隔操作用設備	〔中大断面用〕 遠隔制御盤及び操作機器	台	1	掘削面積40m2以上100m2未満の場合 (注) 1	2	掘削面積100m2以上300m2未満の場合 (注) 1	走行レール (天井走行式ショベル用)	長さ2m×1本	式	1	必要数量	種別	機 械 名	規 格	単位	数 量	摘 要	安全設備	酸素集合装置	〔マンロック、ホスピタルロック用〕酸素容量28m3	基	1	(注)1	酸素呼吸装置	酸素呼吸マスクー式	台	10	マンロック用 (注)1	種別	機 械 名	規 格	単位	数 量	摘 要	安全管理・連絡設備	ガス検知器	〔携帯式〕 検知対象O2, HC, H2, H2S, CO	個	1	(注) 1	ガス検知器 (ニューマチックケーソン用)	検知対象 〔5点(酸素, H2, H2S, CO, CO2)計測用〕	台	1	〃	電話又はインターホン		式	1	〃	ブザー		〃	1	〃	案内TV		〃	1	〃	送気用 設備監視機器		〃	1		記載の修正削除 (歩掛改定に伴う)
種別	機 械 名	規 格	単位	数 量	摘 要																																																																																					
掘削設備	天井走行式 ショベル	バケット容量0.15m3	台	1	掘削面積40m2以上100m2未満の場合																																																																																					
				2	掘削面積100m2以上300m2未満の場合																																																																																					
	天井走行式 (遠隔操縦式)	〔中大断面用〕 バケット容量0.15m3	台	1	掘削面積40m2以上100m2未満の場合																																																																																					
				2	掘削面積100m2以上300m2未満の場合																																																																																					
	遠隔操作用設備	〔中大断面用〕 遠隔制御盤及び操作機器	台	1	掘削面積40m2以上100m2未満の場合 (注) 1																																																																																					
				2	掘削面積100m2以上300m2未満の場合 (注) 1																																																																																					
走行レール (天井走行式ショベル用)	長さ2m×1本	式	1	必要数量																																																																																						
種別	機 械 名	規 格	単位	数 量	摘 要																																																																																					
安全設備	酸素集合装置	〔マンロック、ホスピタルロック用〕酸素容量28m3	基	1	(注)1																																																																																					
	酸素呼吸装置	酸素呼吸マスクー式	台	10	マンロック用 (注)1																																																																																					
種別	機 械 名	規 格	単位	数 量	摘 要																																																																																					
安全管理・連絡設備	ガス検知器	〔携帯式〕 検知対象O2, HC, H2, H2S, CO	個	1	(注) 1																																																																																					
	ガス検知器 (ニューマチックケーソン用)	検知対象 〔5点(酸素, H2, H2S, CO, CO2)計測用〕	台	1	〃																																																																																					
	電話又はインターホン		式	1	〃																																																																																					
	ブザー		〃	1	〃																																																																																					
	案内TV		〃	1	〃																																																																																					
	送気用 設備監視機器		〃	1																																																																																						
積算上の注意事項			(控え頁) 4／45																																																																																							

工 種	ニューマチックケーソン工
-----	--------------

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行																																																																																																																																																																													
現 行				改 正				備 考																																																																																																																																																																											
表4.2 機種を選定（1工事当り機械設備） <table><tr><th>種別</th><th>機 械 名</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td rowspan="6">送気設備</td><td>空 気 圧 縮 機</td><td>吐出量29／36m³／min 圧力0.4MPa</td><td>台</td><td>必要台数</td><td>(注) 1</td></tr><tr><td>圧縮空気清浄機</td><td>処理量 1,100m³／h 圧力0.8MPa</td><td>〃</td><td>必要台数</td><td>(注) 2</td></tr><tr><td>クーリングタワー</td><td>10～60 t／h</td><td>〃</td><td>必要台数</td><td>(注)3, 4, 5</td></tr><tr><td>循環水ポンプ</td><td>口径φ80mm・全揚程30m</td><td>〃</td><td>必要台数</td><td>(注)4, 6</td></tr><tr><td>レシーバタンク</td><td>容量2.5m³ 圧力0.7～0.9MPa</td><td>〃</td><td>必要台数</td><td>(注) 2</td></tr><tr><td>送 気 管</td><td>径 φ150 mm 長さ 5.5m 圧力 1.0MPa</td><td>m</td><td>空気圧縮機からゲージ設備まで</td><td></td></tr><tr><td rowspan="6">救急設備</td><td>ホスピタルロック (空気再圧対応型)</td><td>[中型] 径×長さ φ1.9×4m級 圧力0.5MPa</td><td>台</td><td>1</td><td>(注) 7</td></tr><tr><td>ホスピタルロック (酸素再圧対応型)</td><td>[中型] 径×長さ φ1.9×4m級 圧力0.5MPa</td><td>〃</td><td>1</td><td>(注) 7, 8</td></tr><tr><td>酸素集合装置</td><td>〔マンロック、ホスピタルロック用〕 酸素容量28m³</td><td>基</td><td>1</td><td>(注) 7, 8 必要に応じて別途計上</td></tr><tr><td>酸素呼吸装置</td><td>※ビッドパック用 (注) 7, 8 必要に応じて別途計上</td><td>台</td><td>4</td><td></td></tr><tr><td>圧縮空気清浄機</td><td>処理量 650m³／h 圧力0.49MPa</td><td>〃</td><td>1</td><td>(注) 7</td></tr><tr><td>高 気 圧 下 用 空 気 呼 吸 器</td><td>〔半閉鎖循環式〕 圧力0.4MPa 使用時間30min ポンベ内容量34級</td><td>個</td><td>4</td><td>〃</td></tr><tr><td rowspan="2">予備設備</td><td>空 気 圧 縮 機</td><td>可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型 (第1次基準値) 7.5～7.8m³／min 10.5～11m³／min 18 ～19m³／min の中から選定</td><td>台</td><td>必要台数</td><td>(注) 9</td></tr><tr><td>発 動 発 電 機</td><td>ディーゼルエンジン駆動・排出ガス対策型 (第1次基準値) 35kVA</td><td>〃</td><td>必要台数</td><td>〃</td></tr><tr><td colspan="2">電 力 設 備</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr></table> (注)1. 必要空気量を求め、それに見合う空気圧縮機の数計上する。 2. 圧縮空気清浄機、レシーバタンクは、空気圧縮機の容量に見合う台数を計上する。 3. クーリングタワー用補給水として、清水(水道水、ろ過河川水等)を次の量補給する。 40 t／h……7ℓ／min 4. 空気圧縮機動力100kW当り180ℓ／minの清水が得られる場合は、その取水設備を計上し、クーリングタワーと循環水ポンプは計上しない。 5. クーリングタワー用の補給水について、水道水等による補給が出来ず運搬を伴う場合には別途考慮する。 6. 循環水ポンプについては、必要台数に予備ポンプを含める。 7. 救急設備は、共通仮設費の安全費で別途計上する。 8. 酸素減圧を行う場合、酸素集合装置、酸素呼吸装置について、共通仮設費の安全費で別途計上する。 9. 予備設備の空気圧縮機、発動発電機は、賃料とする。 10. 現場条件により上表により難い場合は、必要により別途考慮する。なお、空気圧縮機用の仮設建屋の費用は共通仮設費において、別途計上する。				種別	機 械 名	規 格	単位	数 量	摘 要	送気設備	空 気 圧 縮 機	吐出量29／36m ³ ／min 圧力0.4MPa	台	必要台数	(注) 1	圧縮空気清浄機	処理量 1,100m ³ ／h 圧力0.8MPa	〃	必要台数	(注) 2	クーリングタワー	10～60 t／h	〃	必要台数	(注)3, 4, 5	循環水ポンプ	口径φ80mm・全揚程30m	〃	必要台数	(注)4, 6	レシーバタンク	容量2.5m ³ 圧力0.7～0.9MPa	〃	必要台数	(注) 2	送 気 管	径 φ150 mm 長さ 5.5m 圧力 1.0MPa	m	空気圧縮機からゲージ設備まで		救急設備	ホスピタルロック (空気再圧対応型)	[中型] 径×長さ φ1.9×4m級 圧力0.5MPa	台	1	(注) 7	ホスピタルロック (酸素再圧対応型)	[中型] 径×長さ φ1.9×4m級 圧力0.5MPa	〃	1	(注) 7, 8	酸素集合装置	〔マンロック、ホスピタルロック用〕 酸素容量28m ³	基	1	(注) 7, 8 必要に応じて別途計上	酸素呼吸装置	※ビッドパック用 (注) 7, 8 必要に応じて別途計上	台	4		圧縮空気清浄機	処理量 650m ³ ／h 圧力0.49MPa	〃	1	(注) 7	高 気 圧 下 用 空 気 呼 吸 器	〔半閉鎖循環式〕 圧力0.4MPa 使用時間30min ポンベ内容量34級	個	4	〃	予備設備	空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型 (第1次基準値) 7.5～7.8m ³ ／min 10.5～11m ³ ／min 18 ～19m ³ ／min の中から選定	台	必要台数	(注) 9	発 動 発 電 機	ディーゼルエンジン駆動・排出ガス対策型 (第1次基準値) 35kVA	〃	必要台数	〃	電 力 設 備			式	1		表4.2 機種を選定（1工事当り機械設備） <table><tr><th>種別</th><th>機 械 名</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td rowspan="6">送気設備</td><td>空 気 圧 縮 機</td><td>吐出量 (50/60ℓz) 29／36m³／min 最大圧力0.4MPa</td><td>台</td><td>必要台数</td><td>(注) 1</td></tr><tr><td>圧縮空気清浄機</td><td>処理量 1,100m³／h 最大圧力0.8MPa</td><td>〃</td><td>必要台数</td><td>(注) 2</td></tr><tr><td>クーリングタワー</td><td>冷却トン数40～60RT→70～75</td><td>〃</td><td>必要台数</td><td>(注)3, 4, 5</td></tr><tr><td>循環水ポンプ</td><td>口径φ80mm・全揚程30m</td><td>〃</td><td>必要台数</td><td>(注)4, 6</td></tr><tr><td>レシーバタンク</td><td>容量2.5m³ 最大圧力0.7～0.9MPa</td><td>〃</td><td>必要台数</td><td>(注) 2</td></tr><tr><td>送 気 管</td><td>口径φ150mm 長さ5.5m 最大圧力1.0MPa</td><td>m</td><td>空気圧縮機からゲージ設備まで</td><td></td></tr><tr><td rowspan="6">救急設備</td><td>ホスピタルロック (空気再圧対応型)</td><td>[中型] 内径φ1,900mm長さ4m 最大圧力0.5MPa</td><td>台</td><td>1</td><td>(注) 7</td></tr><tr><td>ホスピタルロック (酸素再圧対応型)</td><td>[中型] 内径φ1,900mm長さ4m 最大圧力0.5MPa</td><td>〃</td><td>1</td><td>(注) 7, 8</td></tr><tr><td>酸素集合装置</td><td>〔マンロック、ホスピタルロック用〕 酸素容量28m³</td><td>基</td><td>1</td><td>(注) 7, 8 必要に応じて別途計上</td></tr><tr><td>酸素呼吸装置</td><td>酸素呼吸マスクー式</td><td>台</td><td>4</td><td>※ビッドパック用(注) 7, 8 必要に応じて別途計上</td></tr><tr><td>圧縮空気清浄機</td><td>処理量 650m³／h 最大圧力0.49MPa</td><td>〃</td><td>1</td><td>(注) 7</td></tr><tr><td>高 気 圧 下 用 空 気 呼 吸 器</td><td>〔半閉鎖循環式〕 最大圧力0.4MPa 使用時間30min ポンベ内容量34ℓ</td><td>個</td><td>4</td><td>〃</td></tr><tr><td rowspan="2">予備設備</td><td>空 気 圧 縮 機</td><td>可搬式・エンジン駆動・スクリュ型 (低騒音型)・排出ガス対策型 (第3次基準値) 7.5～7.8m³／min 10.5～11m³／min 18 ～19m³／min の中から選定</td><td>台</td><td>必要台数</td><td>(注) 9</td></tr><tr><td>発 動 発 電 機</td><td>〔ディーゼルエンジン駆動・超低騒音型〕 排出ガス対策型 (第3次基準値) 定格容量 (50/60ℓz) 37/45kVA</td><td>〃</td><td>必要台数</td><td>〃</td></tr><tr><td colspan="2">電 力 設 備</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr></table> (注) 1. 必要空気量を求め、それに見合う空気圧縮機の数計上する。 2. 圧縮空気清浄機、レシーバタンクは、空気圧縮機の容量に見合う台数を計上する。 3. クーリングタワー用補給水として、清水(水道水、ろ過河川水等)を次の量補給する。 40RT→60RT→70……7LT／min 4. 空気圧縮機動力100kW当り180ℓ／minの清水が得られる場合は、その取水設備を計上し、クーリングタワーと循環水ポンプは計上しない。 5. クーリングタワー用の補給水について、水道水等による補給が出来ず運搬を伴う場合には別途考慮する。 6. 循環水ポンプについては、必要台数に予備ポンプを含める。 7. 救急設備は、共通仮設費の安全費で別途計上する。 8. 酸素減圧を行う場合、酸素集合装置、酸素呼吸装置について、共通仮設費の安全費で別途計上する。 9. 予備設備の空気圧縮機、発動発電機は、賃料とする。 10. 現場条件により上表により難い場合は、必要により別途考慮する。なお、空気圧縮機用の仮設建屋の費用は共通仮設費において、別途計上する。				種別	機 械 名	規 格	単位	数 量	摘 要	送気設備	空 気 圧 縮 機	吐出量 (50/60ℓz) 29／36m ³ ／min 最大圧力0.4MPa	台	必要台数	(注) 1	圧縮空気清浄機	処理量 1,100m ³ ／h 最大圧力0.8MPa	〃	必要台数	(注) 2	クーリングタワー	冷却トン数40～60RT→ 70～75	〃	必要台数	(注)3, 4, 5	循環水ポンプ	口径φ80mm・全揚程30m	〃	必要台数	(注)4, 6	レシーバタンク	容量2.5m ³ 最大圧力0.7～0.9MPa	〃	必要台数	(注) 2	送 気 管	口径φ150mm 長さ5.5m 最大圧力1.0MPa	m	空気圧縮機からゲージ設備まで		救急設備	ホスピタルロック (空気再圧対応型)	[中型] 内径φ1,900mm長さ4m 最大圧力0.5MPa	台	1	(注) 7	ホスピタルロック (酸素再圧対応型)	[中型] 内径φ1,900mm長さ4m 最大圧力0.5MPa	〃	1	(注) 7, 8	酸素集合装置	〔マンロック、ホスピタルロック用〕 酸素容量28m ³	基	1	(注) 7, 8 必要に応じて別途計上	酸素呼吸装置	酸素呼吸マスク ー式	台	4	※ビッドパック用(注) 7, 8 必要に応じて別途計上	圧縮空気清浄機	処理量 650m ³ ／h 最大圧力0.49MPa	〃	1	(注) 7	高 気 圧 下 用 空 気 呼 吸 器	〔半閉鎖循環式〕 最大圧力0.4MPa 使用時間30min ポンベ内容量34ℓ	個	4	〃	予備設備	空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型 (低騒音型)・排出ガス対策型 (第3次基準値) 7.5～7.8m ³ ／min 10.5～11m ³ ／min 18 ～19m ³ ／min の中から選定	台	必要台数	(注) 9	発 動 発 電 機	〔ディーゼルエンジン駆動・超低騒音型〕 排出ガス対策型 (第3次基準値) 定格容量 (50/60ℓz) 37/45kVA	〃	必要台数	〃	電 力 設 備			式	1		記載の修正削除 (歩掛改定に伴う)	
種別	機 械 名	規 格	単位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																														
送気設備	空 気 圧 縮 機	吐出量29／36m ³ ／min 圧力0.4MPa	台	必要台数	(注) 1																																																																																																																																																																														
	圧縮空気清浄機	処理量 1,100m ³ ／h 圧力0.8MPa	〃	必要台数	(注) 2																																																																																																																																																																														
	クーリングタワー	10～60 t／h	〃	必要台数	(注)3, 4, 5																																																																																																																																																																														
	循環水ポンプ	口径φ80mm・全揚程30m	〃	必要台数	(注)4, 6																																																																																																																																																																														
	レシーバタンク	容量2.5m ³ 圧力0.7～0.9MPa	〃	必要台数	(注) 2																																																																																																																																																																														
	送 気 管	径 φ150 mm 長さ 5.5m 圧力 1.0MPa	m	空気圧縮機からゲージ設備まで																																																																																																																																																																															
救急設備	ホスピタルロック (空気再圧対応型)	[中型] 径×長さ φ1.9×4m級 圧力0.5MPa	台	1	(注) 7																																																																																																																																																																														
	ホスピタルロック (酸素再圧対応型)	[中型] 径×長さ φ1.9×4m級 圧力0.5MPa	〃	1	(注) 7, 8																																																																																																																																																																														
	酸素集合装置	〔マンロック、ホスピタルロック用〕 酸素容量28m ³	基	1	(注) 7, 8 必要に応じて別途計上																																																																																																																																																																														
	酸素呼吸装置	※ビッドパック用 (注) 7, 8 必要に応じて別途計上	台	4																																																																																																																																																																															
	圧縮空気清浄機	処理量 650m ³ ／h 圧力0.49MPa	〃	1	(注) 7																																																																																																																																																																														
	高 気 圧 下 用 空 気 呼 吸 器	〔半閉鎖循環式〕 圧力0.4MPa 使用時間30min ポンベ内容量34級	個	4	〃																																																																																																																																																																														
予備設備	空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型 (第1次基準値) 7.5～7.8m ³ ／min 10.5～11m ³ ／min 18 ～19m ³ ／min の中から選定	台	必要台数	(注) 9																																																																																																																																																																														
	発 動 発 電 機	ディーゼルエンジン駆動・排出ガス対策型 (第1次基準値) 35kVA	〃	必要台数	〃																																																																																																																																																																														
電 力 設 備			式	1																																																																																																																																																																															
種別	機 械 名	規 格	単位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																														
送気設備	空 気 圧 縮 機	吐出量 (50/60ℓz) 29／36m ³ ／min 最大圧力0.4MPa	台	必要台数	(注) 1																																																																																																																																																																														
	圧縮空気清浄機	処理量 1,100m ³ ／h 最大圧力0.8MPa	〃	必要台数	(注) 2																																																																																																																																																																														
	クーリングタワー	冷却トン数40～60RT→ 70～75	〃	必要台数	(注)3, 4, 5																																																																																																																																																																														
	循環水ポンプ	口径φ80mm・全揚程30m	〃	必要台数	(注)4, 6																																																																																																																																																																														
	レシーバタンク	容量2.5m ³ 最大圧力0.7～0.9MPa	〃	必要台数	(注) 2																																																																																																																																																																														
	送 気 管	口径φ150mm 長さ5.5m 最大圧力1.0MPa	m	空気圧縮機からゲージ設備まで																																																																																																																																																																															
救急設備	ホスピタルロック (空気再圧対応型)	[中型] 内径φ1,900mm長さ4m 最大圧力0.5MPa	台	1	(注) 7																																																																																																																																																																														
	ホスピタルロック (酸素再圧対応型)	[中型] 内径φ1,900mm長さ4m 最大圧力0.5MPa	〃	1	(注) 7, 8																																																																																																																																																																														
	酸素集合装置	〔マンロック、ホスピタルロック用〕 酸素容量28m ³	基	1	(注) 7, 8 必要に応じて別途計上																																																																																																																																																																														
	酸素呼吸装置	酸素呼吸マスク ー式	台	4	※ビッドパック用(注) 7, 8 必要に応じて別途計上																																																																																																																																																																														
	圧縮空気清浄機	処理量 650m ³ ／h 最大圧力0.49MPa	〃	1	(注) 7																																																																																																																																																																														
	高 気 圧 下 用 空 気 呼 吸 器	〔半閉鎖循環式〕 最大圧力0.4MPa 使用時間30min ポンベ内容量34ℓ	個	4	〃																																																																																																																																																																														
予備設備	空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型 (低騒音型)・排出ガス対策型 (第3次基準値) 7.5～7.8m ³ ／min 10.5～11m ³ ／min 18 ～19m ³ ／min の中から選定	台	必要台数	(注) 9																																																																																																																																																																														
	発 動 発 電 機	〔ディーゼルエンジン駆動・超低騒音型〕 排出ガス対策型 (第3次基準値) 定格容量 (50/60ℓz) 37/45kVA	〃	必要台数	〃																																																																																																																																																																														
電 力 設 備			式	1																																																																																																																																																																															
積算上の注意事項								(控え頁) 5／45																																																																																																																																																																											

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行																																																																										
現 行				改 正				備 考																																																																								
5.掘削編成人員 5－1 函内作業 ケーソン1基当りの函内作業の編成人員は、次表を標準とする。 表5.1 函内編成人員 (人／基) <table><tr><th>掘削工法</th><th>掘削面積</th><th>潜かん世話役</th><th>潜かん工</th><th>摘 要</th></tr><tr><td rowspan="2">機 械 掘 削</td><td>40m²以上100m²未満</td><td>1</td><td>5</td><td>天井走行式ショベル1台</td></tr><tr><td>100m²以上300m²未満</td><td>1</td><td>7</td><td>天井走行式ショベル2台</td></tr></table> (注)機械掘削の場合の函内掘削機械の運転は、潜かん工が行うものとし、上表に含まれている。 5－2 函外作業 ケーソン1基当りの函外作業の編成人員は、次表を標準とする。 表5.2 函外編成人員 (人／基) <table><tr><th>機装数</th><th>潜かん世話役</th><th>潜かん工</th><th>特殊作業員</th><th>普通作業員</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>2</td><td>1</td><td>1</td><td>1 (0)</td><td>2</td><td></td></tr></table> (注)函内作業気圧が0MPa（素掘）の場合は、特殊作業員は計上しない。 5－3 送気用設備 送気用設備の運転の編成人員は、別途計上する。 6.作 業 時 間 等 6－1 函内作業及び函外作業 函内作業及び函外作業に従事する作業員の1組当り作業時間（賃金対象時間）は8時間とし、1日2交替（2組）とする。 6－2 送気用設備 送気用設備の運転に従事する作業員の作業時間は別途計上する。				掘削工法	掘削面積	潜かん世話役	潜かん工	摘 要	機 械 掘 削	40m ² 以上100m ² 未満	1	5	天井走行式ショベル1台	100m ² 以上300m ² 未満	1	7	天井走行式ショベル2台	機装数	潜かん世話役	潜かん工	特殊作業員	普通作業員	摘 要	2	1	1	1 (0)	2		5.掘削編成人員 5－1 函内作業 ケーソン1基当りの函内作業の編成人員は、次表を標準とする。 表5.1 函内編成人員 (人／基) <table><tr><th>掘削工法</th><th>掘削面積</th><th>潜かん世話役</th><th>潜かん工</th><th>摘 要</th></tr><tr><td rowspan="2">有 人 機 械 掘 削</td><td>40m²以上100m²未満</td><td>1</td><td>5</td><td>天井走行式ショベル1台</td></tr><tr><td>100m²以上300m²未満</td><td>1</td><td>7</td><td>天井走行式ショベル2台</td></tr><tr><td rowspan="2">無 人 機 械 掘 削</td><td>40m²以上100m²未満</td><td>1</td><td>2</td><td>天井走行式ショベル1台</td></tr><tr><td>100m²以上300m²未満</td><td>1</td><td>4</td><td>天井走行式ショベル2台</td></tr></table> (注) 1. 有人機械掘削の場合の函内掘削機械の運転は、潜かん工が行うものとし、上表に含まれている。 2. 無人機械掘削の場合の函内掘削機械の運転は、遠隔操作室から潜かん工が行うものとし、上表に含まれている。 3. 無人機械掘削の場合の函内掘削機械の点検・管理は函内にて潜かん世話役もしくは潜かん工が行うものとし、上表に含まれている。 5－2 函外作業 ケーソン1基当りの函外作業の編成人員は、次表を標準とする。 表5.2 函外編成人員 (人／基) <table><tr><th>機装数</th><th>潜かん世話役</th><th>潜かん工</th><th>特殊作業員</th><th>普通作業員</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>2</td><td>1</td><td>1</td><td>1 (0)</td><td>2</td><td></td></tr></table> (注)函内作業気圧が0MPa（素掘）の場合は、特殊作業員は計上しない。 5－3 送気用設備 1現場あたりの送気用設備の運転の編成人員は、次表を標準とする。 表5.3 送気用設備編成人員 (人／現場) <table><tr><th>特殊作業員</th></tr><tr><td>1</td></tr></table> なお、送気用設備運転1日当りの保守点検作業は、次表を標準とする。 表5.4 送気用設備保守点検歩掛 (運転1日当り) <table><tr><th>名 称</th><th>単 位</th><th>数 量</th></tr><tr><td>電 工</td><td>人</td><td>0.3</td></tr></table> 送気用設備の運転の諸雑費は、送気用設備監視機器（空気圧縮機・クーリングタワー異常温度警報装置、送気本管・函内圧力警報装置及び数位視測用カメラ・モニター類）の費用等であり、労務費(送気用設備の運転および保守点検作業)の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。 表5.5 送気用設備諸雑費率 (%) <table><tr><th>諸 雑 費 率</th><td>3</td></tr></table>				掘削工法	掘削面積	潜かん世話役	潜かん工	摘 要	有 人 機 械 掘 削	40m ² 以上100m ² 未満	1	5	天井走行式ショベル1台	100m ² 以上300m ² 未満	1	7	天井走行式ショベル2台	無 人 機 械 掘 削	40m ² 以上100m ² 未満	1	2	天井走行式ショベル1台	100m ² 以上300m ² 未満	1	4	天井走行式ショベル2台	機装数	潜かん世話役	潜かん工	特殊作業員	普通作業員	摘 要	2	1	1	1 (0)	2		特殊作業員	1	名 称	単 位	数 量	電 工	人	0.3	諸 雑 費 率	3	記載の修正削除 (歩掛改定に伴う)	
掘削工法	掘削面積	潜かん世話役	潜かん工	摘 要																																																																												
機 械 掘 削	40m ² 以上100m ² 未満	1	5	天井走行式ショベル1台																																																																												
	100m ² 以上300m ² 未満	1	7	天井走行式ショベル2台																																																																												
機装数	潜かん世話役	潜かん工	特殊作業員	普通作業員	摘 要																																																																											
2	1	1	1 (0)	2																																																																												
掘削工法	掘削面積	潜かん世話役	潜かん工	摘 要																																																																												
有 人 機 械 掘 削	40m ² 以上100m ² 未満	1	5	天井走行式ショベル1台																																																																												
	100m ² 以上300m ² 未満	1	7	天井走行式ショベル2台																																																																												
無 人 機 械 掘 削	40m ² 以上100m ² 未満	1	2	天井走行式ショベル1台																																																																												
	100m ² 以上300m ² 未満	1	4	天井走行式ショベル2台																																																																												
機装数	潜かん世話役	潜かん工	特殊作業員	普通作業員	摘 要																																																																											
2	1	1	1 (0)	2																																																																												
特殊作業員																																																																																
1																																																																																
名 称	単 位	数 量																																																																														
電 工	人	0.3																																																																														
諸 雑 費 率	3																																																																															
II-3-①-4																																																																																
積算上の注意事項				(控え頁) 6／45																																																																												

工 種	ニューマチックケーソン工
-----	--------------

改 正 理 由	一部改正		改 正 現 行																																																																																																													
現 行		改 正		備 考																																																																																																												
前頁から移動		6. 作 業 時 間 等 6－1 函内作業及び函外作業 函内作業及び函外作業に従事する作業員の1組当り作業時間（賃金対象時間）は8時間とし、1日2方2組（2組）を標準とするが、現場条件等により1日1方（1組）とすることもできる。 6－2 送気用設備 送気用設備の運転に従事する特殊作業員の作業時間は、全日（24時間）とし、1日3方（3組）で従事するものとする。なお、運転日数は、送気開始日から終了日までとする。 <table><tr><td></td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td></tr><tr><td>送気1の組</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td></tr><tr><td>送気2の組</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td></tr><tr><td>送気3の組</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td></tr></table> 作業時間 24h (21h) 深夜 7h (6h)			8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	5	6	7	8	9	送気1の組	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	送気2の組										■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	送気3の組																		■	■	■	■	■	■	■	■	■	記載の修正削除 (歩掛改定に伴う)
	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	5	6	7	8	9																																																																																						
送気1の組	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■																																																																																						
送気2の組										■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■																																																																																						
送気3の組																		■	■	■	■	■	■	■	■	■																																																																																						
積算上の注意事項				(控え頁) 7／45																																																																																																												

改 正 理 由	一部改正	改 正		備 考																																																								
		現 行	現 行																																																									
7. 設備等の供用日数 設備等の供用日数は、積上げて算出することを原則とする。 8. 施 工 歩 掛 8－1 刃口金物製作・据付 8－1－1 刃口金物の材料費 刃口金物の材料費（製作費含む）は、一般管理費等のみ対象とする。 8－1－2 刃口金物の据付け 刃口金物の据付けは、次表を標準とする。 表8.1 刃口金物据付歩掛 (1基当り) <table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単 位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>0.5×T₁</td><td rowspan="4">T₁：1基当り刃口金物質量（t）</td></tr><tr><td>溶 接 工</td><td></td><td>#</td><td>1.0×T₁</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>#</td><td>0.8×T₁</td></tr><tr><td>ラ フ テ レ ン ク レ ー ン 運 転</td><td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第2次基準値）25 t吊</td><td>日</td><td>0.24×T₁</td></tr><tr><td>諸 雑 費 率</td><td></td><td>%</td><td>7</td><td></td></tr></table> (注)1. 据付地盤の整地は含まない。 2. 溶接工には、機械工を含む。 3. 電気溶接機の運転を含む。 4. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。 5. 諸雑費は、電力に関する経費、溶接機の損料、燃料・油脂及び溶接ワイヤー等の費用であり、労務費及び賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。		名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	0.5×T ₁	T ₁ ：1基当り刃口金物質量（t）	溶 接 工		#	1.0×T ₁	普 通 作 業 員		#	0.8×T ₁	ラ フ テ レ ン ク レ ー ン 運 転	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第2次基準値）25 t吊	日	0.24×T ₁	諸 雑 費 率		%	7		7. 設備等の供用日数 設備等の供用日数は、次表のとおり算定することを標準とする。なお、標準とは、休日に土曜日、日曜日、祝日、年末年始休暇及び夏季休暇を含んでいる工事とする。 ただし、供用日数が標準以外の場合には、積上げて算出することとする。を原則とするが、次表のとおり算定することが出来る。なお、標準以外とは、以下のような工事を想定する。 ・緊急性の高い工事などで工期の短縮が必要な場合 ・工事中止などで標準工期よりも長期間の工期を必要とする場合 ・掘削工と構築工の並行作業(昼間構築・夜間掘削など)を導入する場合 表7. 1 供用日数 <table><tr><th>設備等</th><th>供用日数</th><th>摘要</th></tr><tr><td>共 通 設 備</td><td>(A+B+C+E) ×1.54</td><td rowspan="5"></td></tr><tr><td>排 土 設 備</td><td>(A+B+E) ×1.54</td></tr><tr><td>掘削設備（遠隔操作設備を除く）</td><td>(A+B+E) ×1.54</td></tr><tr><td>掘 削 設 備 （ 遠 隔 操 作 設 備 ）</td><td>(A+B+E') ×1.54</td></tr><tr><td>織 装 設 備</td><td>(A+B+C) ×1.54</td></tr><tr><td>外 側 足 場</td><td>(A+B) ×1.54</td><td rowspan="3">ケーソンが2基以上の場合は、重複する分を減ずること。</td></tr><tr><td>内 側 足 場</td><td>(A₁+B₁) ×1.54</td></tr><tr><td>安 全 設 備</td><td>(A+B+C) ×1.54</td></tr><tr><td>送 気 設 備</td><td>(A+B+C+D) ×1.54</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>救 急 設 備</td><td>(A+B+C) ×1.54</td></tr><tr><td>予 備 設 備</td><td>(A+B+C) ×1.54</td></tr></table> ただし、A：ケーソン構築日数（織装日数含む） A₁：ケーソン部構築日数（ピアケーソンのピア部を含まず） B：掘削沈下日数 B₁：ケーソン部掘削沈下日数（ピアケーソンのピア部を含まず） C：中埋コンクリート打設・養生日数（支持力テスト含む） D：定置式空気圧縮機組立・解体日数 E：天井走行式ショベル組立・解体日数 E'：遠隔操作設備組立・解体日数 (注) 1. 送気用空気圧縮機は、最大容量分を同時に据付・撤去する。 2. 送気用空気圧縮機は、各ロットの掘削又は構築作業毎に運転台数を求め計上する。 3. 織装用シャフトは、ケーソン1基当り全使用本数の1/2に全供用日数を計上し、残り1/2に全供用日数の1/2を計上する。 4. 内側足場は, ケーソン1基当り全内側足場掛m2の1/2に全供用日数を計上し、残り1/2に全供用日数の1/2を計上する。 5. 掘削沈下日数は、有人掘削と無人掘削の合計とする。 6. 遠隔操作設備のケーソン構築日数及び掘削沈下日数は、無人掘削開始からの日数を計上する。 7. 供用日数は整数止めとし、小数点以下第1位を切り上げるものとする。		設備等	供用日数	摘要	共 通 設 備	(A+B+C+E) ×1.54		排 土 設 備	(A+B+E) ×1.54	掘削設備（遠隔操作設備を除く）	(A+B+E) ×1.54	掘 削 設 備 （ 遠 隔 操 作 設 備 ）	(A+B+E') ×1.54	織 装 設 備	(A+B+C) ×1.54	外 側 足 場	(A+B) ×1.54	ケーソンが2基以上の場合は、重複する分を減ずること。	内 側 足 場	(A ₁ +B ₁) ×1.54	安 全 設 備	(A+B+C) ×1.54	送 気 設 備	(A+B+C+D) ×1.54		救 急 設 備	(A+B+C) ×1.54	予 備 設 備	(A+B+C) ×1.54	次頁へ移動	記載の修正削除 (歩掛改定に伴う)
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																								
土 木 一 般 世 話 役		人	0.5×T ₁	T ₁ ：1基当り刃口金物質量（t）																																																								
溶 接 工		#	1.0×T ₁																																																									
普 通 作 業 員		#	0.8×T ₁																																																									
ラ フ テ レ ン ク レ ー ン 運 転	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第2次基準値）25 t吊	日	0.24×T ₁																																																									
諸 雑 費 率		%	7																																																									
設備等	供用日数	摘要																																																										
共 通 設 備	(A+B+C+E) ×1.54																																																											
排 土 設 備	(A+B+E) ×1.54																																																											
掘削設備（遠隔操作設備を除く）	(A+B+E) ×1.54																																																											
掘 削 設 備 （ 遠 隔 操 作 設 備 ）	(A+B+E') ×1.54																																																											
織 装 設 備	(A+B+C) ×1.54																																																											
外 側 足 場	(A+B) ×1.54	ケーソンが2基以上の場合は、重複する分を減ずること。																																																										
内 側 足 場	(A ₁ +B ₁) ×1.54																																																											
安 全 設 備	(A+B+C) ×1.54																																																											
送 気 設 備	(A+B+C+D) ×1.54																																																											
救 急 設 備	(A+B+C) ×1.54																																																											
予 備 設 備	(A+B+C) ×1.54																																																											
積算上の注意事項				(控え頁) 8／45																																																								

工 種	ニューマチックケーソン工
-----	--------------

改 正 理 由	一部改正	改 正 現 行																												
現 行	改 正	備 考																												
前頁から移動	8. 施 工 歩 掛 8-1 刃口金物製作・据付 8-1-1 刃口金物の材料費 刃口金物の材料費（製作費含む）は、一般管理費等のみ対象とする。 8-1-2 刃口金物の据付け 刃口金物の据付けは、次表を標準とする。 表8.1 刃口金物据付歩掛 (1基当り) <table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単 位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>0.6×T₁</td><td rowspan="3">T₁ : 1基当り刃口金物質量 (t)</td></tr><tr><td>溶 接 工</td><td></td><td>〃</td><td>1.1×T₁</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>0.9×T₁</td></tr><tr><td>ラ フ テ レ ン ク レ ン 運 転</td><td>油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型 (2014年規制) 最大吊上能力25t吊</td><td>日</td><td>0.31×T₁</td><td></td></tr><tr><td>諸 雑 費 率</td><td></td><td>%</td><td>10</td><td></td></tr></table> (注) 1. 据付地盤の整地は含まない。 2. 溶接工には、機械工を含む。 2. 電気溶接機の運転を含む。 3. ラフテレンクレーンは、賃料とする。 4. 諸雑費は、電力に関する経費、溶接機の損料、燃料・油脂及び溶接ワイヤー等の費用であり、 労務費及び賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上乗として計上する。	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	0.6×T ₁	T ₁ : 1基当り刃口金物質量 (t)	溶 接 工		〃	1.1×T ₁	普 通 作 業 員		〃	0.9×T ₁	ラ フ テ レ ン ク レ ン 運 転	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型 (2014年規制) 最大吊上能力25t吊	日	0.31×T ₁		諸 雑 費 率		%	10		記載の修正削除 (歩掛改定に伴う)
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																										
土 木 一 般 世 話 役		人	0.6×T ₁	T ₁ : 1基当り刃口金物質量 (t)																										
溶 接 工		〃	1.1×T ₁																											
普 通 作 業 員		〃	0.9×T ₁																											
ラ フ テ レ ン ク レ ン 運 転	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型 (2014年規制) 最大吊上能力25t吊	日	0.31×T ₁																											
諸 雑 費 率		%	10																											
積算上の注意事項	II-3-④-5		(控え頁) 9／45																											

改正理由		一部改正		改正		現行																																																																																																																										
現行				改正				備考																																																																																																																								
8-2 沈下掘削 8-2-1 機械掘削 施工1日（2組）当りの掘削量（D₀）は、次式による。 D₀=β×D₀1 D₀:1日（2組）当りの掘削量（m³・地山／日） β:補正係数 D₀1:機械掘削1日（2組）当りの掘削量（m³・地山／日） 表8.2 機械掘削1日（2組）当りの掘削量（D₀1）（m³・地山／日） <table><tr><th>掘削面積（m²） 面内作業気圧（MPa）</th><th>40以上60未満</th><th>60以上100未満</th><th>100以上300未満</th></tr><tr><td>0（素掘）</td><td>53.4 (-)</td><td>61.4 (-)</td><td>96.3 (-)</td></tr><tr><td>0を超え0.10以下</td><td>51.9 (-)</td><td>59.6 (-)</td><td>93.6 (-)</td></tr><tr><td>0.10を超え0.14以下</td><td>42.0 (45.0)</td><td>48.2 (51.8)</td><td>75.7 (81.2)</td></tr><tr><td>0.14を超え0.18以下</td><td>30.5 (36.6)</td><td>35.1 (42.1)</td><td>55.1 (66.1)</td></tr><tr><td>0.18を超え0.22以下</td><td>19.8 (26.7)</td><td>22.8 (30.7)</td><td>35.8 (48.2)</td></tr><tr><td>0.22を超え0.26以下</td><td>16.0 (22.9)</td><td>18.4 (26.3)</td><td>28.9 (41.3)</td></tr><tr><td>0.26を超え0.30以下</td><td>12.2 (18.3)</td><td>14.0 (21.1)</td><td>22.0 (33.0)</td></tr><tr><td>0.30を超え0.34以下</td><td>- (14.5)</td><td>- (16.7)</td><td>- (26.2)</td></tr><tr><td>0.34を超え0.36以下</td><td>- (11.4)</td><td>- (13.2)</td><td>- (20.6)</td></tr><tr><td>0.36を超え0.38以下</td><td>- (9.9)</td><td>- (11.4)</td><td>- (17.9)</td></tr><tr><td>0.38を超え0.40以下</td><td>- (9.9)</td><td>- (11.4)</td><td>- (17.9)</td></tr></table> (注)酸素減圧を行う場合は、（ ）内の数値を計上する。 表8.3 土質による補正係数（β） <table><tr><th>土質</th><th>砂、砂質土、粘性土及び粘土</th><th>レキ及びレキ質土</th><th>玉石混り砂レキ</th><th>軟岩（Ⅰ）</th><th>軟岩（Ⅱ）</th></tr><tr><td>補正係数</td><td>1.00</td><td>0.84</td><td>0.56</td><td>0.35</td><td>0.17</td></tr></table> (注)1. 刃口掘付面から掘削深3 mまでは、上表を30%低減する。 2. 軟岩（Ⅰ）は、ピックハンマ等による掘削、軟岩（Ⅱ）は免破を必要とする場合の歩掛である。 3. 軟岩（Ⅱ）の場合、掘削10m³当り火薬2.1kg、雷管13個を計上する。 4. 軟岩（Ⅱ）の場合は削岩機を、軟岩（Ⅰ）の場合はピックハンマを次の台数計上する。 掘削面積 40m²以上100m²未満2台 空気圧縮機（削岩機用）7.5～7.8m³／min〔可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型（第1次基準値）〕×1台 掘削面積 100m²以上300m²未満3台 空気圧縮機（削岩機用）7.5～7.8m³／min〔可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型（第1次基準値）〕×1台 掘削面積 40m²以上100m²未満2台 空気圧縮機（ピックハンマ）7.5～7.8m³／min〔可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型（第1次基準値）〕×1台 掘削面積 100m²以上300m²未満3台 空気圧縮機（ピックハンマ）7.5～7.8m³／min〔可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型（第1次基準値）〕×1台 5. 軟岩（Ⅰ）で亀裂が少なくブレーカを使用しても大塊となるもの及び軟岩（Ⅱ）において中硬岩に近く相当に免破を必要とするものについては、日当り掘削量を30%低減することが出来る。 II-3-①-6				掘削面積（m ² ） 面内作業気圧（MPa）	40以上60未満	60以上100未満	100以上300未満	0（素掘）	53.4 (-)	61.4 (-)	96.3 (-)	0を超え0.10以下	51.9 (-)	59.6 (-)	93.6 (-)	0.10を超え0.14以下	42.0 (45.0)	48.2 (51.8)	75.7 (81.2)	0.14を超え0.18以下	30.5 (36.6)	35.1 (42.1)	55.1 (66.1)	0.18を超え0.22以下	19.8 (26.7)	22.8 (30.7)	35.8 (48.2)	0.22を超え0.26以下	16.0 (22.9)	18.4 (26.3)	28.9 (41.3)	0.26を超え0.30以下	12.2 (18.3)	14.0 (21.1)	22.0 (33.0)	0.30を超え0.34以下	- (14.5)	- (16.7)	- (26.2)	0.34を超え0.36以下	- (11.4)	- (13.2)	- (20.6)	0.36を超え0.38以下	- (9.9)	- (11.4)	- (17.9)	0.38を超え0.40以下	- (9.9)	- (11.4)	- (17.9)	土質	砂、砂質土、粘性土及び粘土	レキ及びレキ質土	玉石混り砂レキ	軟岩（Ⅰ）	軟岩（Ⅱ）	補正係数	1.00	0.84	0.56	0.35	0.17	8-2 沈下掘削 8-2-1 機械掘削1日（2組） 施工1日（2組）当りの掘削量（D₀）は、次式による。 D₀=β×D₀1 D₀:1日（2組）当りの掘削量（m³・地山／日） β:補正係数 D₀1:機械掘削1日（2組）当りの掘削量（m³・地山／日） 表8.2 有人機械掘削1日（2組）当りの掘削量（D₀1）（m³・地山／日） <table><tr><th>掘削面積（m²） 面内作業気圧（MPa）</th><th>40以上60未満</th><th>60以上100未満</th><th>100以上300未満</th></tr><tr><td>0（素掘）</td><td>53.4 44.5</td><td>61.4 48.2</td><td>96.3 75.7</td></tr><tr><td>0を超え0.10以下</td><td>51.9（注） 44.5</td><td>59.6（注） 48.2</td><td>93.6（注） 75.7</td></tr><tr><td>0.10を超え0.14以下</td><td>42.0 45.0</td><td>48.2 51.8</td><td>75.7 81.2</td></tr><tr><td>0.14を超え0.18以下</td><td>30.5 36.6</td><td>35.1 42.1</td><td>55.1 66.1</td></tr><tr><td>0.18を超え0.22以下</td><td>19.8 26.7</td><td>22.8 30.7</td><td>35.8 48.2</td></tr><tr><td>0.22を超え0.26以下</td><td>16.0 22.9</td><td>18.4 26.3</td><td>28.9 41.3</td></tr><tr><td>0.26を超え0.30以下</td><td>12.2 18.3</td><td>14.0 21.1</td><td>22.0 33.0</td></tr><tr><td>0.30を超え0.34以下</td><td>- 14.5</td><td>- 16.7</td><td>- 26.2</td></tr><tr><td>0.34を超え0.36以下</td><td>- 11.4</td><td>- 13.2</td><td>- 20.6</td></tr><tr><td>0.36を超え0.38以下</td><td>- 9.9</td><td>- 11.4</td><td>- 17.9</td></tr><tr><td>0.38を超え0.40以下</td><td>- 9.9</td><td>- 11.4</td><td>- 17.9</td></tr></table> (注)0MPaを超え0.10MPa以下のみ空気減圧とし、以降は酸素減圧を標準とする。 表8.3 有人機械掘削における土質による補正係数（β） <table><tr><th>土質</th><th>砂、砂質土、粘性土及び粘土</th><th>レキ及びレキ質土</th><th>玉石混り砂レキ</th><th>軟岩（Ⅰ）</th><th>軟岩（Ⅱ）</th></tr><tr><td>補正係数</td><td>1.00</td><td>0.84</td><td>0.56</td><td>0.35</td><td>0.17</td></tr></table>				掘削面積（m ² ） 面内作業気圧（MPa）	40以上60未満	60以上100未満	100以上300未満	0（素掘）	53.4 44.5	61.4 48.2	96.3 75.7	0を超え0.10以下	51.9（注） 44.5	59.6（注） 48.2	93.6（注） 75.7	0.10を超え0.14以下	42.0 45.0	48.2 51.8	75.7 81.2	0.14を超え0.18以下	30.5 36.6	35.1 42.1	55.1 66.1	0.18を超え0.22以下	19.8 26.7	22.8 30.7	35.8 48.2	0.22を超え0.26以下	16.0 22.9	18.4 26.3	28.9 41.3	0.26を超え0.30以下	12.2 18.3	14.0 21.1	22.0 33.0	0.30を超え0.34以下	- 14.5	- 16.7	- 26.2	0.34を超え0.36以下	- 11.4	- 13.2	- 20.6	0.36を超え0.38以下	- 9.9	- 11.4	- 17.9	0.38を超え0.40以下	- 9.9	- 11.4	- 17.9	土質	砂、砂質土、粘性土及び粘土	レキ及びレキ質土	玉石混り砂レキ	軟岩（Ⅰ）	軟岩（Ⅱ）	補正係数	1.00	0.84	0.56	0.35	0.17	記載の修正削除 （歩掛改定に伴う）
掘削面積（m ² ） 面内作業気圧（MPa）	40以上60未満	60以上100未満	100以上300未満																																																																																																																													
0（素掘）	53.4 (-)	61.4 (-)	96.3 (-)																																																																																																																													
0を超え0.10以下	51.9 (-)	59.6 (-)	93.6 (-)																																																																																																																													
0.10を超え0.14以下	42.0 (45.0)	48.2 (51.8)	75.7 (81.2)																																																																																																																													
0.14を超え0.18以下	30.5 (36.6)	35.1 (42.1)	55.1 (66.1)																																																																																																																													
0.18を超え0.22以下	19.8 (26.7)	22.8 (30.7)	35.8 (48.2)																																																																																																																													
0.22を超え0.26以下	16.0 (22.9)	18.4 (26.3)	28.9 (41.3)																																																																																																																													
0.26を超え0.30以下	12.2 (18.3)	14.0 (21.1)	22.0 (33.0)																																																																																																																													
0.30を超え0.34以下	- (14.5)	- (16.7)	- (26.2)																																																																																																																													
0.34を超え0.36以下	- (11.4)	- (13.2)	- (20.6)																																																																																																																													
0.36を超え0.38以下	- (9.9)	- (11.4)	- (17.9)																																																																																																																													
0.38を超え0.40以下	- (9.9)	- (11.4)	- (17.9)																																																																																																																													
土質	砂、砂質土、粘性土及び粘土	レキ及びレキ質土	玉石混り砂レキ	軟岩（Ⅰ）	軟岩（Ⅱ）																																																																																																																											
補正係数	1.00	0.84	0.56	0.35	0.17																																																																																																																											
掘削面積（m ² ） 面内作業気圧（MPa）	40以上60未満	60以上100未満	100以上300未満																																																																																																																													
0（素掘）	53.4 44.5	61.4 48.2	96.3 75.7																																																																																																																													
0を超え0.10以下	51.9（注） 44.5	59.6（注） 48.2	93.6（注） 75.7																																																																																																																													
0.10を超え0.14以下	42.0 45.0	48.2 51.8	75.7 81.2																																																																																																																													
0.14を超え0.18以下	30.5 36.6	35.1 42.1	55.1 66.1																																																																																																																													
0.18を超え0.22以下	19.8 26.7	22.8 30.7	35.8 48.2																																																																																																																													
0.22を超え0.26以下	16.0 22.9	18.4 26.3	28.9 41.3																																																																																																																													
0.26を超え0.30以下	12.2 18.3	14.0 21.1	22.0 33.0																																																																																																																													
0.30を超え0.34以下	- 14.5	- 16.7	- 26.2																																																																																																																													
0.34を超え0.36以下	- 11.4	- 13.2	- 20.6																																																																																																																													
0.36を超え0.38以下	- 9.9	- 11.4	- 17.9																																																																																																																													
0.38を超え0.40以下	- 9.9	- 11.4	- 17.9																																																																																																																													
土質	砂、砂質土、粘性土及び粘土	レキ及びレキ質土	玉石混り砂レキ	軟岩（Ⅰ）	軟岩（Ⅱ）																																																																																																																											
補正係数	1.00	0.84	0.56	0.35	0.17																																																																																																																											
積算上の注意事項				（控え頁） 10／45																																																																																																																												

工 種	ニューマチックケーソン工
-----	--------------

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行		備 考																																																					
現行なし				→				記載の修正削除 (歩掛改定に伴う)																																																					
II-3-①-6				8-2-2 機械掘削1日(1組) 施工1日(1組)当りの掘削量(Dc)は、次式による。 Dc=β×Dc1 Dc:1日(1組)当りの掘削量(m3・地山/日) β:補正係数(表8.3および表8.5による) Dc1:機械掘削1日(1組)当りの掘削量(m3・地山/日)																																																									
				表8.6 有人機械掘削1日(1組)当りの掘削量(Dc1) (m3・地山/日)																																																									
				<table><tr><th>掘削面積 (m2)</th><th>40以上60未満</th><th>60以上100未満</th><th>100以上300未満</th></tr><tr><td>両内作業気圧(MPa)</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>0 (素掘)</td><td>26.7</td><td>30.7</td><td>48.2</td></tr><tr><td>0 を超え0.10以下</td><td>25.9 (注)</td><td>29.9 (注)</td><td>46.8 (注)</td></tr><tr><td>0.10を超え0.14以下</td><td>22.5</td><td>25.9</td><td>40.6</td></tr><tr><td>0.14を超え0.18以下</td><td>18.3</td><td>21.1</td><td>33.0</td></tr><tr><td>0.18を超え0.22以下</td><td>13.3</td><td>15.4</td><td>24.1</td></tr><tr><td>0.22を超え0.26以下</td><td>11.4</td><td>13.2</td><td>20.6</td></tr><tr><td>0.26を超え0.30以下</td><td>9.1</td><td>10.5</td><td>16.5</td></tr><tr><td>0.30を超え0.34以下</td><td>7.2</td><td>8.3</td><td>13.1</td></tr><tr><td>0.34を超え0.36以下</td><td>5.7</td><td>6.6</td><td>10.3</td></tr><tr><td>0.36を超え0.38以下</td><td>5.0</td><td>5.7</td><td>8.9</td></tr><tr><td>0.38を超え0.40以下</td><td>5.0</td><td>5.7</td><td>8.9</td></tr></table>				掘削面積 (m2)	40以上60未満	60以上100未満	100以上300未満	両内作業気圧(MPa)				0 (素掘)	26.7	30.7	48.2	0 を超え0.10以下	25.9 (注)	29.9 (注)	46.8 (注)	0.10を超え0.14以下	22.5	25.9	40.6	0.14を超え0.18以下	18.3	21.1	33.0	0.18を超え0.22以下	13.3	15.4	24.1	0.22を超え0.26以下	11.4	13.2	20.6	0.26を超え0.30以下	9.1	10.5	16.5	0.30を超え0.34以下	7.2	8.3	13.1	0.34を超え0.36以下	5.7	6.6	10.3	0.36を超え0.38以下	5.0	5.7	8.9	0.38を超え0.40以下	5.0	5.7	8.9		
掘削面積 (m2)	40以上60未満	60以上100未満	100以上300未満																																																										
両内作業気圧(MPa)																																																													
0 (素掘)	26.7	30.7	48.2																																																										
0 を超え0.10以下	25.9 (注)	29.9 (注)	46.8 (注)																																																										
0.10を超え0.14以下	22.5	25.9	40.6																																																										
0.14を超え0.18以下	18.3	21.1	33.0																																																										
0.18を超え0.22以下	13.3	15.4	24.1																																																										
0.22を超え0.26以下	11.4	13.2	20.6																																																										
0.26を超え0.30以下	9.1	10.5	16.5																																																										
0.30を超え0.34以下	7.2	8.3	13.1																																																										
0.34を超え0.36以下	5.7	6.6	10.3																																																										
0.36を超え0.38以下	5.0	5.7	8.9																																																										
0.38を超え0.40以下	5.0	5.7	8.9																																																										
				(注) 0MPaを超え0.10MPa以下のみ空気減圧とし、以降は酸素減圧を標準とする。																																																									
				表8.7 無人機械掘削1日(1組)当りの掘削量(Dc1) (m3・地山/日)																																																									
				<table><tr><th>掘削面積 (m2)</th><th>40以上60未満</th><th>60以上100未満</th><th>100以上300未満</th></tr><tr><td>両内作業気圧(MPa)</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>0以上0.40以下</td><td>16.0</td><td>18.4</td><td>28.9</td></tr></table>				掘削面積 (m2)	40以上60未満	60以上100未満	100以上300未満	両内作業気圧(MPa)				0以上0.40以下	16.0	18.4	28.9																																										
掘削面積 (m2)	40以上60未満	60以上100未満	100以上300未満																																																										
両内作業気圧(MPa)																																																													
0以上0.40以下	16.0	18.4	28.9																																																										
積算上の注意事項								(控え頁) 12／45																																																					

工 種	ニューマチックケーソン工
-----	--------------

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行		備 考																																										
現 行				改 正				備 考																																										
8－3 沈下促進工法 8－3－1 載荷工法 (1) 材料 水荷重（ポンプによる注排水）を標準とするが、現場条件等によりその他の工法が必要な場合は別途計上する。 (2) 水荷重（ポンプによる注排水）作業 水荷重（ポンプによる注排水）作業は、次表を標準とする。 表8.4 水荷重（ポンプによる注排水）作業歩掛（1 t 当り） <table><tr><td>名</td><td>称</td><td>単 位</td><td>数 量</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td>人</td><td></td><td>0.02</td></tr></table> (注) 注排水は、工事用水中モータポンプ〔普通型(潜水ポンプ)〕口径φ100mmを必要台数計上する。 8－4 構築工 8－4－1 ケーソン本体及び止水壁の製作 ケーソン本体及び止水壁は、鉄筋コンクリート構造を標準とする。 (1) ケーソン本体及び止水壁の構築日数 コンクリートは早強セメント使用を標準とし、1 リフト（ロット）当り標準構築日数は、醸装の組立・解体を含めて10日（普通セメント使用の場合12日）とする。なお、止水壁の製作は止水壁ケーソンを使用する場合のみ適用する。 (2) 投入打設工 「第Ⅱ編第4 章①コンクリート工（鉄筋構造物）」により別途計上する。 (3) 足場工 ① 足場は手摺先行型枠組足場を標準とし、掛面積は、次式による。 外側足場掛面積（ケツ部）（掛㎡）＝初期2 ロット分外周面積×1.3（掛㎡） 外側足場掛面積（ピア部）（掛㎡）＝1 ロット分外周面積×1.3（掛㎡） 内側足場掛面積（掛㎡）＝必要ロット分外周面積×0.55（掛㎡） ② 外側足場材の設置・撤去は、止水壁ケーソン及びピアケーソンのケーソン部の構築において、1 回分のみ計上し、ピアケーソンのピア部は1 ロット毎に計上する。ただし、ピアケーソンのピア部の外側足場については、1 ロット分の掛面積とする。 ③ 内側足場材の設置・撤去は、止水壁ケーソン及びピアケーソンのケーソン部の構築において、1 回分のみ計上する。 ④ 足場材の設置・撤去歩掛は、次表を標準とする。				名	称	単 位	数 量	特 殊 作 業 員	人		0.02	8－3 沈下促進工法 8－3－1 載荷工法 (1) 材料 水荷重（ポンプによる注排水）を標準とするが、現場条件等によりその他の工法が必要な場合は別途計上する。 (2) 水荷重（ポンプによる注排水）作業 水荷重（ポンプによる注排水）作業は、次表を標準とする。 表8.8 水荷重（ポンプによる注排水）作業歩掛（1t 当り） <table><tr><td>名</td><td>称</td><td>単 位</td><td>数 量</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td>人</td><td></td><td>0.02</td></tr></table> (注) 1. 注排水は、工事用水中モータポンプ〔普通型(潜水ポンプ)〕口径φ100mmを必要台数計上する。 2. 水の数量は水負荷として必要数量（t）とする。 8－4 構築工 8－4－1 ケーソン本体及び止水壁の製作 ケーソン本体及び止水壁は、鉄筋コンクリート構造を標準とする。 (1) ケーソン本体及び止水壁の構築日数 コンクリートは早強セメント使用を標準とし、1 リフト（ロット）当り標準構築日数は、醸装の組立・解体を含めて10日（普通セメント使用の場合12日）とする。なお、止水壁の製作は止水壁ケーソンを使用する場合のみ適用する。 (2) 投入打設工 「第Ⅱ編第4 章①コンクリート工（鉄筋構造物）」により別途計上する。 (3) 足場工 ① 足場は手摺先行型枠組足場を標準とし、掛面積は、次式による。 外側足場掛面積（ケツ部）（掛㎡）＝初期2 ロット分外周面積×1.3（掛㎡2） 外側足場掛面積（ピア部）（掛㎡2）＝1 ロット分外周面積×1.3（掛㎡2） 内側足場掛面積（掛㎡2）＝必要ロット分外周面積×0.55（掛㎡2） ② 外側足場材の設置・撤去は、止水壁ケーソン及びピアケーソンのケーソン部の構築において、1 回分のみ計上し、ピアケーソンのピア部は1 ロット毎に計上する。ただし、ピアケーソンのピア部の外側足場については、1 ロット分の掛面積とする。 ③ 内側足場材の設置・撤去は、止水壁ケーソン及びピアケーソンのケーソン部の構築において、1 回分のみ計上する。 ④ 足場材の設置・撤去歩掛は、次表を標準とする。 表8.9 足場材設置・撤去歩掛（100掛㎡当り） <table><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単位</td><td>外側足場</td><td>内側足場</td></tr><tr><td>土木一般世話役</td><td></td><td>人</td><td>1.7</td><td>2.9</td></tr><tr><td>と び 工</td><td></td><td>㎡</td><td>6.7</td><td>7.2</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>㎡</td><td>1.2</td><td>2.3</td></tr><tr><td>クローラークレーン燃料</td><td>油圧駆動式ウインチ・ラチェスジブ型 排出ガ対策型(2014年規制) 最大吊上能力70t 吊</td><td>ℓ</td><td>167</td><td>245</td></tr></table> (注) 1. クローラークレーンの賃料は共通設備で計上する。 2. 足場の架台及び支持杭が必要な場合には別途計上する。 3. 上記歩掛には、安全ネットの設置撤去手間が含まれている。				名	称	単 位	数 量	特 殊 作 業 員	人		0.02	名 称	規 格	単位	外側足場	内側足場	土木一般世話役		人	1.7	2.9	と び 工		㎡	6.7	7.2	普 通 作 業 員		㎡	1.2	2.3	クローラークレーン燃料	油圧駆動式ウインチ・ラチェスジブ型 排出ガ対策型(2014年規制) 最大吊上能力70t 吊	ℓ	167	245	記載の修正削除 （歩掛改定に伴う）	
名	称	単 位	数 量																																															
特 殊 作 業 員	人		0.02																																															
名	称	単 位	数 量																																															
特 殊 作 業 員	人		0.02																																															
名 称	規 格	単位	外側足場	内側足場																																														
土木一般世話役		人	1.7	2.9																																														
と び 工		㎡	6.7	7.2																																														
普 通 作 業 員		㎡	1.2	2.3																																														
クローラークレーン燃料	油圧駆動式ウインチ・ラチェスジブ型 排出ガ対策型(2014年規制) 最大吊上能力70t 吊	ℓ	167	245																																														
積算上の注意事項								（控え頁） 13／45																																										

工 種	ニューマチックケーソン工
-----	--------------

改 正 理 由	一部改正	改 正		備 考																									
		現 行																											
現 行		改 正		備 考																									
表8. 5 足場材設置・撤去歩掛 (100掛m²当り) <table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>外側足場</th><th>内側足場</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>1.5</td><td>2.6</td></tr><tr><td>と び 工</td><td></td><td>〃</td><td>6.1</td><td>6.5</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>1.1</td><td>2.1</td></tr><tr><td>クローラクレーン運転</td><td>油圧駆動式ワインチ・ラチスジブ型・排吐ガス対策型(第1次基準) 50t吊</td><td>日</td><td>1.8</td><td>2.6</td></tr></table> (注) 1. クローラクレーンは、賃料とする。 2. 足場の架台及び支持杭が必要な場合には別途計上する。 3. 上記歩掛には、安全ネットの設置撤去手間が含まれている。 ⑤ 足場材の賃料を計上する場合、次式の通り算定することができる。 賃料＝ L× (M1×T+M2) ×A (円) ……式 8. 1 L：賃料係数 (1.3) M1：先行据置 2 段手すりの 1 日当たりの賃料 (円/日) M2：先行据置 2 段手すりの基本料金 (円) T：足場材の供用日数 (日) A：足場の掛面積 (掛 m2) 足場材は、敷板、建枠、筋違、板付布枠、連結ビン、アームロック、ジャッキベース、手摺柱、手摺、先行据置 2 段手すり、幅木、階段、養生ネット (メッシュシート)、安全ネット等である。 (4) 型枠工 「第Ⅱ編第 4 章②－1 型枠工」により別途計上する。 (5) 支保工 「第Ⅱ編第 5 章⑦－2 支保工」により別途計上する。 (6) 鉄筋工 鉄筋工は、「第Ⅶ編第 2 章①－1 鉄筋工 (太径鉄筋含む)」により別途計上する。 (7) 養生工 「第Ⅱ編第 4 章①コンクリート工」により別途計上する。 8－4－2 埋戻工 現場条件により埋戻工が必要な場合は、別途計上する。 8－4－3 止水壁撤去 止水壁撤去が必要な場合は、別途計上する。 Ⅱ-3-①-8		名 称	規 格	単位	外側足場	内側足場	土 木 一 般 世 話 役		人	1.5	2.6	と び 工		〃	6.1	6.5	普 通 作 業 員		〃	1.1	2.1	クローラクレーン運転	油圧駆動式ワインチ・ラチスジブ型・排吐ガス対策型(第1次基準) 50t吊	日	1.8	2.6	前頁へ移動 ⑤ 足場材の賃料を計上する場合、次式の通り算定することができる。 賃料＝ L× (M1×T+M2) ×A (円) ……式 8. 1 L：賃料係数 (1.49) M1：先行据置 2 段手すりの 1 日当たりの賃料 (円/日) M2：先行据置 2 段手すりの基本料金 (円) T：足場材の供用日数 (日) A：足場の掛面積 (掛 m2) 現行どおり (4) 型枠工 「第Ⅱ編第 4 章コンクリート工②－1 型枠工」により別途計上する。 (5) 支保工 「第Ⅱ編第 5 章仮設工⑥－2 支保工」により別途計上する。 (6) 鉄筋工 鉄筋工は、「第Ⅱ編第 4 章コンクリート工④－1鉄筋工 (太径鉄筋含む)」により別途計上する。 (7) 養生工 「第Ⅱ編第 4 章コンクリート工①コンクリート工」により別途計上する。 現行どおり		記載の修正削除 (歩掛改定に伴う) 記載の修正削除 (歩掛改定に伴う)
名 称	規 格	単位	外側足場	内側足場																									
土 木 一 般 世 話 役		人	1.5	2.6																									
と び 工		〃	6.1	6.5																									
普 通 作 業 員		〃	1.1	2.1																									
クローラクレーン運転	油圧駆動式ワインチ・ラチスジブ型・排吐ガス対策型(第1次基準) 50t吊	日	1.8	2.6																									
積算上の注意事項				(控え頁) 14／45																									

工 種	ニューマチックケーソン工
-----	--------------

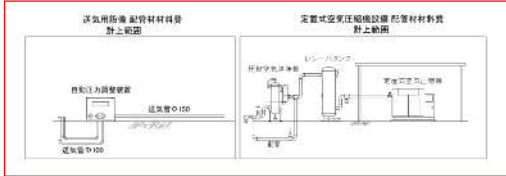
改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行																																																																	
現 行				改 正				備 考																																																															
8－4－4 中埋コンクリート打設 (1) 中埋コンクリート工 中埋コンクリート工は作業室内を充填するコンクリートの打設を対象とする。作業室天井のシャフト部を中埋コンクリートと異なるコンクリートで充填する場合は、別途計上する。 中埋コンクリート打設歩掛、コンクリートポンプ車の運転経費は、次表を標準とする。 表8.6 中埋コンクリート打設歩掛 (10m³当り) <table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数量</th></tr><tr><td>潜 か ん 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>0.15</td></tr><tr><td>潜 か ん</td><td></td><td>人</td><td>0.15</td></tr><tr><td>コンクリートポンプ車運転</td><td>トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m³/h</td><td>日</td><td>0.11</td></tr></table> (注) コンクリートポンプ車圧送のスランプ値及び粗骨材の最大寸法は、次表のとおりとする。 表 8.7 コンクリートポンプ車圧送のコンクリートの標準範囲 <table><tr><th>スランプ (cm)</th><th>粗骨材の最大寸法 (mm)</th></tr><tr><td>18 ～ 21</td><td>25 以下</td></tr></table> (2) 中埋コンクリート打設量 中埋コンクリートの使用量は、次式による。 中埋コンクリート使用量 ＝ 設計量× (1＋K) ……式 8. 2 設計量：作業室中埋コンクリート量 (m³) K：ロス率 表8.8 ロス率(K) <table><tr><td>K：ロス率</td><td>＋0.04</td></tr></table> (3) ブローパイプバルブ調整 ケーソン 1 基当りのブローパイプのバルブ調整は、次表を標準とする。 表8.9 ブローパイプバルブ調整 (1 基当り) <table><tr><th>名 称</th><th>単 位</th><th>数 量</th></tr><tr><td>潜 か ん 工</td><td>人</td><td>6.3</td></tr><tr><td>諸 雑 費 率</td><td>%</td><td>21</td></tr></table> (注)1. バルブ調整は中埋コンクリートの打設量に関係ない。 2. 諸雑費はボールバルブ、フランジの費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 8－4－5 コンタクトグラウト打設 コンタクトグラウト打設が必要な場合は、別途計上する。 II-3-①-9				名 称	規 格	単位	数量	潜 か ん 世 話 役		人	0.15	潜 か ん		人	0.15	コンクリートポンプ車運転	トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m³/h	日	0.11	スランプ (cm)	粗骨材の最大寸法 (mm)	18 ～ 21	25 以下	K：ロス率	＋0.04	名 称	単 位	数 量	潜 か ん 工	人	6.3	諸 雑 費 率	%	21	現行どおり 表8.10 中埋コンクリート打設歩掛 (10m³当り) <table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数量</th></tr><tr><td>潜 か ん 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>0.17</td></tr><tr><td>潜 か ん</td><td></td><td>人</td><td>0.17</td></tr><tr><td>コンクリートポンプ車運転</td><td>トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m³/h</td><td>日</td><td>0.11</td></tr></table> (注) コンクリートポンプ車圧送のスランプ値及び粗骨材の最大寸法は、次表のとおりとする。 表 8.11 コンクリートポンプ車圧送のコンクリートの標準範囲 <table><tr><th>スランプ (cm)</th><th>粗骨材の最大寸法 (mm)</th></tr><tr><td>18 ～ 21</td><td>25 以下</td></tr></table> (2) 中埋コンクリート打設量 中埋コンクリートの使用量は、次式による。 中埋コンクリート使用量 ＝ 設計量× (1＋K) ……式 8. 2 設計量：作業室中埋コンクリート量 (m³) K：ロス率 表8.12 ロス率(K) <table><tr><td>K：ロス率</td><td>＋0.04</td></tr></table> (3) ブローパイプバルブ調整 ケーソン 1 基当りのブローパイプのバルブ調整は、次表を標準とする。 表8.13 ブローパイプバルブ調整 (1 基当り) <table><tr><th>名 称</th><th>単 位</th><th>数 量</th></tr><tr><td>潜 か ん 工</td><td>人</td><td>6.9</td></tr><tr><td>諸 雑 費 率</td><td>%</td><td>27</td></tr></table> (注)1. バルブ調整は中埋コンクリートの打設量に関係ない。 2. 諸雑費はボールバルブ、フランジの費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。				名 称	規 格	単位	数量	潜 か ん 世 話 役		人	0.17	潜 か ん		人	0.17	コンクリートポンプ車運転	トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m³/h	日	0.11	スランプ (cm)	粗骨材の最大寸法 (mm)	18 ～ 21	25 以下	K：ロス率	＋0.04	名 称	単 位	数 量	潜 か ん 工	人	6.9	諸 雑 費 率	%	27	記載の修正削除 (歩掛改定に伴う)	
名 称	規 格	単位	数量																																																																				
潜 か ん 世 話 役		人	0.15																																																																				
潜 か ん		人	0.15																																																																				
コンクリートポンプ車運転	トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m³/h	日	0.11																																																																				
スランプ (cm)	粗骨材の最大寸法 (mm)																																																																						
18 ～ 21	25 以下																																																																						
K：ロス率	＋0.04																																																																						
名 称	単 位	数 量																																																																					
潜 か ん 工	人	6.3																																																																					
諸 雑 費 率	%	21																																																																					
名 称	規 格	単位	数量																																																																				
潜 か ん 世 話 役		人	0.17																																																																				
潜 か ん		人	0.17																																																																				
コンクリートポンプ車運転	トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m³/h	日	0.11																																																																				
スランプ (cm)	粗骨材の最大寸法 (mm)																																																																						
18 ～ 21	25 以下																																																																						
K：ロス率	＋0.04																																																																						
名 称	単 位	数 量																																																																					
潜 か ん 工	人	6.9																																																																					
諸 雑 費 率	%	27																																																																					
積算上の注意事項								(控え頁) 15／45																																																															

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
現 行				改 正				備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
9.仮 設 備 工 9－1 仮設備の組立・解体 仮設備の組立・解体は、次表を標準とする。 ただし、定置式空気圧縮機設備、土砂ホッパー等を同場所に同時に2台以上組立・解体する場合は、次表に台数分を乗じて計上する。 表9.1 仮設備の組立・解体歩掛 (1台当り) <table><tr><th rowspan="2">名 称</th><th rowspan="2">規 格</th><th rowspan="2">単 位</th><th colspan="2">定置式空気圧縮機設備 (29/36m³/min)</th><th colspan="2">土砂ホッパー (10m³級)</th><th colspan="2">天井走行式ショベル(山積0.15 m³ (平積0.13m³))</th><th colspan="2">クレーングタワー 設備 (40～60 t /h)</th><th colspan="2">ホスピタルロック</th></tr><tr><th>組立 7.0日</th><th>解体 5.0日</th><th>組立</th><th>解体</th><th>組立 3.2日</th><th>解体 3.2日</th><th>組立</th><th>解体</th><th>組立</th><th>解体</th></tr><tr><td>土木一般世話役</td><td></td><td>人</td><td>3.3</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>0.5</td><td>2.2</td><td>2.2</td><td>—</td><td>—</td><td>1.0</td><td>1.0</td></tr><tr><td>とび工</td><td></td><td>人</td><td>7.0</td><td>3.0</td><td>5.2</td><td>2.5</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>3.0</td><td>1.0</td></tr><tr><td>溶接工</td><td></td><td>人</td><td>14.0</td><td>5.0</td><td>3.5</td><td>1.3</td><td>—</td><td>—</td><td>1.0</td><td>0.5</td><td>4.0</td><td>1.1</td></tr><tr><td>管かん工</td><td></td><td>人</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>7.9</td><td>6.3</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>電工</td><td></td><td>人</td><td>3.0</td><td>1.0</td><td>0.4</td><td>0.2</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>普通作業員</td><td></td><td>人</td><td>11.0</td><td>5.0</td><td>0.6</td><td>0.4</td><td>—</td><td>—</td><td>0.7</td><td>0.3</td><td>3.3</td><td>2.0</td></tr><tr><td>コンクリート</td><td></td><td>m³</td><td>12</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>ラフテレーンクレーン運転</td><td>油圧伸縮シブ型 排出ガス対策型 (第2次基準)前 25 t吊</td><td>日</td><td>2.0</td><td>1.0</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>3.2</td><td>3.2</td><td>0.3</td><td>0.2</td><td>1.0</td><td>1.0</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>%</td><td colspan="2">24</td><td colspan="2">7</td><td colspan="2">10</td><td colspan="2">32</td><td colspan="2">14</td></tr></table> (注)1. 組立材料は、地盤状態のよい水平面上に設置した場合の必要量を計上するものとし、コンクリートの打設歩掛は組立・解体歩掛に含まれている。 2. 天井走行式ショベルの組立・解体には、[走行レール (天井走行式ショベル用)] の組立・解体を含む。 3. 定置式空気圧縮機設備の歩掛は、レシーバタンク、圧縮空気清浄装置の組立・解体を含む。 4. クレーングタワーの歩掛は、空気圧縮機等からの配管を含む。 5. 天井走行式ショベルの解体歩掛は、室内作業気圧0.22MPa (酸素減圧の場合は0.26MPa) までを標準とし、それ以上については別途考慮する。 6. 諸雑費は組立に必要な配管、ボルトナット、バルブ、パッキン、土砂ホッパーの足下に設置するH形鋼、ホスピタルロックの建原材等であり、労務費、組立材料費、機械賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 7. 定置式空気圧縮機設備の基礎コンクリートの撤去については、「第Ⅵ編第1章④構造物とりこわし工」により別途計上する。 8. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。 9－2 送気用配管設備 配管は、一般配管用鋼管 (ガス管) とし、空気圧縮機からゲージ設備まではφ150mm、ゲージ設備からケーソンまではφ100mmを標準とし、配管歩掛は次表を標準とする。 表9.2 配管歩掛 (100m当り) <table><tr><th rowspan="3">名 称</th><th rowspan="3">単 位</th><th colspan="4">管 径 (mm)</th></tr><tr><th colspan="2">100</th><th colspan="2">150</th></tr><tr><th>組立</th><th>解体</th><th>組立</th><th>解体</th></tr><tr><td>土木一般世話役</td><td>人</td><td>1.0</td><td>0.5</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td>普通作業員</td><td>人</td><td>3.0</td><td>2.0</td><td>4.0</td><td>2.0</td></tr><tr><td>配 管 工</td><td>人</td><td>3.0</td><td>2.0</td><td>5.0</td><td>3.0</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td>%</td><td colspan="2">21</td><td colspan="2">16</td></tr></table> (注)諸雑費はパッキン、ボルトナット、ティー、バルブの費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 Ⅱ-3-④-10				名 称	規 格	単 位	定置式空気圧縮機設備 (29/36m ³ /min)		土砂ホッパー (10m ³ 級)		天井走行式ショベル(山積0.15 m ³ (平積0.13m ³))		クレーングタワー 設備 (40～60 t /h)		ホスピタルロック		組立 7.0日	解体 5.0日	組立	解体	組立 3.2日	解体 3.2日	組立	解体	組立	解体	土木一般世話役		人	3.3	2.0	1.5	0.5	2.2	2.2	—	—	1.0	1.0	とび工		人	7.0	3.0	5.2	2.5	—	—	—	—	3.0	1.0	溶接工		人	14.0	5.0	3.5	1.3	—	—	1.0	0.5	4.0	1.1	管かん工		人	—	—	—	—	7.9	6.3	—	—	—	—	電工		人	3.0	1.0	0.4	0.2	1.0	1.0	—	—	—	—	普通作業員		人	11.0	5.0	0.6	0.4	—	—	0.7	0.3	3.3	2.0	コンクリート		m ³	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ラフテレーンクレーン運転	油圧伸縮シブ型 排出ガス対策型 (第2次基準)前 25 t吊	日	2.0	1.0	1.5	1.0	3.2	3.2	0.3	0.2	1.0	1.0	諸 雑 費		%	24		7		10		32		14		名 称	単 位	管 径 (mm)				100		150		組立	解体	組立	解体	土木一般世話役	人	1.0	0.5	1.0	0.6	普通作業員	人	3.0	2.0	4.0	2.0	配 管 工	人	3.0	2.0	5.0	3.0	諸 雑 費	%	21		16		9.仮 設 備 工 9－1 仮設備の組立・解体 9－1－1 組立・解体歩掛 仮設備の組立・解体は、次表を標準とする。 ただし、定置式空気圧縮機設備、土砂ホッパー等を同場所に同時に2台以上組立・解体する場合は、次表に台数分を乗じて計上する。 表9.1-1 仮設備の組立・解体歩掛 (1台当り) <table><tr><th rowspan="2">名 称</th><th rowspan="2">規 格</th><th rowspan="2">単 位</th><th colspan="2">土 砂 ホ ッ パ ー (ホッパー投入容量10m3)</th><th colspan="2">天 井 走 行 式 ショベ ル バケツ 容量0.15m3</th><th colspan="2">遠 隔 操 作 用 設 備</th></tr><tr><th>組立</th><th>解体</th><th>組立 3.9日</th><th>解体 3.9日</th><th>組立 日</th><th>解体 日</th></tr><tr><td>土木一般世話役</td><td></td><td>人</td><td>1.7</td><td>0.5</td><td>2.4</td><td>2.4</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>潜かん世話役</td><td></td><td>人</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>1.8</td><td>1.3</td></tr><tr><td>とび工</td><td></td><td>人</td><td>5.7</td><td>2.8</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>溶接工</td><td></td><td>人</td><td>3.9</td><td>1.4</td><td>—</td><td>—</td><td>1.0</td><td>0.7</td></tr><tr><td>潜かん工</td><td></td><td>人</td><td>—</td><td>—</td><td>8.7</td><td>6.9</td><td>9.8</td><td>6.7</td></tr><tr><td>電工</td><td></td><td>人</td><td>0.4</td><td>0.2</td><td>1.1</td><td>1.1</td><td>10.0</td><td>3.3</td></tr><tr><td>特殊作業員</td><td></td><td>人</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>1.9</td><td>—</td></tr><tr><td>普通作業員</td><td></td><td>人</td><td>0.7</td><td>0.4</td><td>—</td><td>—</td><td>7.8</td><td>7.2</td></tr><tr><td>ラフテレーンクレーン運転</td><td>油圧伸縮シブ型 排出ガス対策型 (2014年規制)] 最大吊上能力25t吊</td><td>日</td><td>1.9</td><td>1.2</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>クローラークレーン燃料</td><td>油圧駆動式ワインチ ラチスジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制)] 最大吊上能力70t吊</td><td>L</td><td>—</td><td>—</td><td>412</td><td>412</td><td>180</td><td>69</td></tr><tr><td>諸 雑 費 率</td><td></td><td>%</td><td colspan="2">10</td><td colspan="2">23</td><td colspan="2">7</td></tr></table> <table><tr><th rowspan="2">名 称</th><th rowspan="2">規 格</th><th rowspan="2">単 位</th><th colspan="2">定 置 式 空 気 圧 縮 機 設 備 (29/36m3/min)</th><th colspan="2">クレーングタワー 設備 (吊钩トン数40～60RT)</th><th colspan="2">ホ ス ピ タ ル ロ ッ ク</th></tr><tr><th>組立 7.7日</th><th>解体 5.5日</th><th>組立</th><th>組立</th><th>組立</th><th>組立</th></tr><tr><td>土木一般世話役</td><td></td><td>人</td><td>3.6</td><td>2.2</td><td>—</td><td>—</td><td>1.1</td><td>1.1</td></tr><tr><td>とび工</td><td></td><td>人</td><td>7.7</td><td>3.3</td><td>—</td><td>—</td><td>3.3</td><td>1.1</td></tr><tr><td>溶接工</td><td></td><td>人</td><td>15.4</td><td>5.5</td><td>1.1</td><td>0.5</td><td>4.4</td><td>1.2</td></tr><tr><td>電工</td><td></td><td>人</td><td>3.3</td><td>1.1</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>普通作業員</td><td></td><td>人</td><td>12.1</td><td>5.5</td><td>0.8</td><td>0.3</td><td>3.6</td><td>2.2</td></tr><tr><td>コンクリート</td><td></td><td>m3</td><td>12</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>ラフテレーンクレーン運転</td><td>油圧伸縮シブ型 排出ガス対策型 (2014年規制)] 最大吊上能力25t吊</td><td>日</td><td>2.5</td><td>1.2</td><td>0.37</td><td>0.25</td><td>1.2</td><td>1.2</td></tr><tr><td>クローラークレーン燃料</td><td>油圧駆動式ワインチ ラチスジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制)] 最大吊上能力70t吊</td><td>L</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>諸 雑 費 率</td><td></td><td>%</td><td colspan="2">6</td><td colspan="2">24</td><td colspan="2">18</td></tr></table>				名 称	規 格	単 位	土 砂 ホ ッ パ ー (ホッパー投入容量10m3)		天 井 走 行 式 ショベ ル バケツ 容量0.15m3		遠 隔 操 作 用 設 備		組立	解体	組立 3.9日	解体 3.9日	組立 日	解体 日	土木一般世話役		人	1.7	0.5	2.4	2.4	—	—	潜かん世話役		人	—	—	—	—	1.8	1.3	とび工		人	5.7	2.8	—	—	—	—	溶接工		人	3.9	1.4	—	—	1.0	0.7	潜かん工		人	—	—	8.7	6.9	9.8	6.7	電工		人	0.4	0.2	1.1	1.1	10.0	3.3	特殊作業員		人	—	—	—	—	1.9	—	普通作業員		人	0.7	0.4	—	—	7.8	7.2	ラフテレーンクレーン運転	油圧伸縮シブ型 排出ガス対策型 (2014年規制)] 最大吊上能力25t吊	日	1.9	1.2	—	—	—	—	クローラークレーン燃料	油圧駆動式ワインチ ラチスジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制)] 最大吊上能力70t吊	L	—	—	412	412	180	69	諸 雑 費 率		%	10		23		7		名 称	規 格	単 位	定 置 式 空 気 圧 縮 機 設 備 (29/36m3/min)		クレーングタワー 設備 (吊钩トン数40～60RT)		ホ ス ピ タ ル ロ ッ ク		組立 7.7日	解体 5.5日	組立	組立	組立	組立	土木一般世話役		人	3.6	2.2	—	—	1.1	1.1	とび工		人	7.7	3.3	—	—	3.3	1.1	溶接工		人	15.4	5.5	1.1	0.5	4.4	1.2	電工		人	3.3	1.1	—	—	—	—	普通作業員		人	12.1	5.5	0.8	0.3	3.6	2.2	コンクリート		m3	12	—	—	—	—	—	ラフテレーンクレーン運転	油圧伸縮シブ型 排出ガス対策型 (2014年規制)] 最大吊上能力25t吊	日	2.5	1.2	0.37	0.25	1.2	1.2	クローラークレーン燃料	油圧駆動式ワインチ ラチスジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制)] 最大吊上能力70t吊	L	—	—	—	—	—	—	諸 雑 費 率		%	6		24		18		記載の修正削除 (歩掛改定に伴う)	
名 称	規 格	単 位	定置式空気圧縮機設備 (29/36m ³ /min)				土砂ホッパー (10m ³ 級)		天井走行式ショベル(山積0.15 m ³ (平積0.13m ³))		クレーングタワー 設備 (40～60 t /h)		ホスピタルロック																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
			組立 7.0日	解体 5.0日	組立	解体	組立 3.2日	解体 3.2日	組立	解体	組立	解体																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
土木一般世話役		人	3.3	2.0	1.5	0.5	2.2	2.2	—	—	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
とび工		人	7.0	3.0	5.2	2.5	—	—	—	—	3.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
溶接工		人	14.0	5.0	3.5	1.3	—	—	1.0	0.5	4.0	1.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
管かん工		人	—	—	—	—	7.9	6.3	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
電工		人	3.0	1.0	0.4	0.2	1.0	1.0	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
普通作業員		人	11.0	5.0	0.6	0.4	—	—	0.7	0.3	3.3	2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
コンクリート		m ³	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
ラフテレーンクレーン運転	油圧伸縮シブ型 排出ガス対策型 (第2次基準)前 25 t吊	日	2.0	1.0	1.5	1.0	3.2	3.2	0.3	0.2	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
諸 雑 費		%	24		7		10		32		14																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
名 称	単 位	管 径 (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		100		150																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		組立	解体	組立	解体																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
土木一般世話役	人	1.0	0.5	1.0	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
普通作業員	人	3.0	2.0	4.0	2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
配 管 工	人	3.0	2.0	5.0	3.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
諸 雑 費	%	21		16																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
名 称	規 格	単 位	土 砂 ホ ッ パ ー (ホッパー投入容量10m3)		天 井 走 行 式 ショベ ル バケツ 容量0.15m3		遠 隔 操 作 用 設 備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			組立	解体	組立 3.9日	解体 3.9日	組立 日	解体 日																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
土木一般世話役		人	1.7	0.5	2.4	2.4	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
潜かん世話役		人	—	—	—	—	1.8	1.3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
とび工		人	5.7	2.8	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
溶接工		人	3.9	1.4	—	—	1.0	0.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
潜かん工		人	—	—	8.7	6.9	9.8	6.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
電工		人	0.4	0.2	1.1	1.1	10.0	3.3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
特殊作業員		人	—	—	—	—	1.9	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
普通作業員		人	0.7	0.4	—	—	7.8	7.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
ラフテレーンクレーン運転	油圧伸縮シブ型 排出ガス対策型 (2014年規制)] 最大吊上能力25t吊	日	1.9	1.2	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
クローラークレーン燃料	油圧駆動式ワインチ ラチスジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制)] 最大吊上能力70t吊	L	—	—	412	412	180	69																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
諸 雑 費 率		%	10		23		7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
名 称	規 格	単 位	定 置 式 空 気 圧 縮 機 設 備 (29/36m3/min)		クレーングタワー 設備 (吊钩トン数40～60RT)		ホ ス ピ タ ル ロ ッ ク																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			組立 7.7日	解体 5.5日	組立	組立	組立	組立																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
土木一般世話役		人	3.6	2.2	—	—	1.1	1.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
とび工		人	7.7	3.3	—	—	3.3	1.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
溶接工		人	15.4	5.5	1.1	0.5	4.4	1.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
電工		人	3.3	1.1	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
普通作業員		人	12.1	5.5	0.8	0.3	3.6	2.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
コンクリート		m3	12	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
ラフテレーンクレーン運転	油圧伸縮シブ型 排出ガス対策型 (2014年規制)] 最大吊上能力25t吊	日	2.5	1.2	0.37	0.25	1.2	1.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
クローラークレーン燃料	油圧駆動式ワインチ ラチスジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制)] 最大吊上能力70t吊	L	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
諸 雑 費 率		%	6		24		18																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
積算上の注意事項				(控え頁)				16／45																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					

工 種	ニューマチックケーソン工
-----	--------------

改 正 理 由	一部改正	改 正							
		現 行							
現 行		改 正	備 考						
前頁から移動		(注) 1. 組立材料は、地盤状態のよい水平面上に設置した場合の必要量を計上するものとし、コンクリートの打設歩掛は、組立・解体歩掛に含まれている。 2. 天井走行式ショベルの組立・解体には、[走行レール（天井走行式ショベル用）]の組立・解体を含む。 3. 天井走行式ショベルの組立・解体は、天井走行式ショベル〔遠隔操作型〕にも適用できる。 4. 定置式空気圧縮機設備の歩掛は、レシーバタンク、圧縮空気清浄装置の組立・解体を含む。 5. クーリングタワーの歩掛は、空気圧縮機等からの配管を含む。 6. 天井走行式ショベルの解体歩掛及び遠隔操作設備の解体歩掛は、案内作業気圧0.26MPaまでを標準とし、それ以上については別途考慮する。 7. 諸雑費は組立に必要なボルトナット、パッキン、土砂ホッパーの足下に設置するH形鋼、ホスピタルロックの建屋材等であり、労務費、機械賃料、燃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。なお、クローラクレーンの賃料は対象外とする。 8. 定置式空気圧縮機設備の基礎コンクリートの撤去については、「第VI編第1章土木工事標準単価④構造物とリこわし工」により別途計上する。 9. ラフテレーンクレーンは賃料とする。 10. クローラクレーンの賃料は共通設備で計上する。 9－1－2 配管材料材料費 (1) 定置式空気圧縮機設備 定置式空気圧縮機設備で使用する配管材料材料費は、必要な配管、バルブ、エアホース等の費用を計上する。 逆風用設備 配管材料材料費 計上範囲 定置式空気圧縮機設備 配管材料材料費 計上範囲 表9. 1-2 定置式空気圧縮機設備1台当たりの配管材料材料費 (円/式) <table><tr><td>配管材料材料費</td><td>553,000</td></tr></table> (2) クーリングタワー設備 クーリングタワー設備で使用する配管材料材料費は、必要な配管、バルブ等の費用を計上する。 表9. 1-3 クーリングタワー設備1台当たりの配管材料材料費 (円/式) <table><tr><td>配管材料材料費</td><td>57,800</td></tr></table> (3) ホスピタルロック ホスピタルロックで使用する配管材料材料費は、必要なエアホース等の費用を計上する。 表9. 1-4 ホスピタルロック1台当たりの配管材料材料費 (円/式) <table><tr><td>配管材料材料費</td><td>49,200</td></tr></table>	配管材料材料費	553,000	配管材料材料費	57,800	配管材料材料費	49,200	記載の修正削除 (歩掛改定に伴う)
配管材料材料費	553,000								
配管材料材料費	57,800								
配管材料材料費	49,200								
II-3-④-10									
積算上の注意事項			(控え頁) 17／45						

工 種	ニューマチックケーソン工
-----	--------------

改 正 理 由	一部改正	改 正																																											
	現 行	現 行																																											
現 行	改 正		備 考																																										
前頁から移動	9-2 送気用配管設備 9-2-1 配管歩掛 配管は、一般配管用鋼管（ガス管）とし、空気圧縮機からゲージ設備まではφ150mm、ゲージ設備から作業室まではφ100mmを標準とし、配管歩掛は次表を標準とする。 表9.2-1 配管歩掛 (100m当り) <table><tr><th rowspan="3">名 称</th><th rowspan="3">単 位</th><th colspan="4">管 径 (mm)</th></tr><tr><th colspan="2">100</th><th colspan="2">150</th></tr><tr><th>組立</th><th>解体</th><th>組立</th><th>解体</th></tr><tr><td>土木一般世話役</td><td>人</td><td>1.1</td><td>0.6</td><td>1.1</td><td>0.7</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>#</td><td>3.3</td><td>2.2</td><td>4.4</td><td>2.2</td></tr><tr><td>配 管 工</td><td>#</td><td>3.3</td><td>2.2</td><td>5.5</td><td>3.3</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td>%</td><td colspan="2">9</td><td colspan="2">11</td></tr></table> (注) 諸雑費はパッキン、ボルトナット、ボルトナット、パッキンの費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 9-2-2 配管材料材料費 (1) 管径100mm 送気配管（管径100mm）で使用する配管材料材料費は、必要なバルブ、フランジ及びエルボ等の費用を計上する。 表9.2-2 管径100mmの配管材料材料費 (円/m) <table><tr><td>配管材料材料費</td><td>910</td></tr></table> (2) 管径150mm 送気配管（管径150mm）で使用する配管材料材料費は、必要なバルブ、フランジ及びエルボ等の費用を計上する。 表9.2-3 管径150mmの配管材料材料費 (円/m) <table><tr><td>配管材料材料費</td><td>1,820</td></tr></table> 送気用設備 配管材料材料費 計上範囲 設置式空気圧縮機設備 配管材料材料費 計上範囲 		名 称	単 位	管 径 (mm)				100		150		組立	解体	組立	解体	土木一般世話役	人	1.1	0.6	1.1	0.7	普 通 作 業 員	#	3.3	2.2	4.4	2.2	配 管 工	#	3.3	2.2	5.5	3.3	諸 雑 費	%	9		11		配管材料材料費	910	配管材料材料費	1,820	記載の修正削除 (歩掛改定に伴う)
名 称	単 位	管 径 (mm)																																											
		100			150																																								
		組立	解体	組立	解体																																								
土木一般世話役	人	1.1	0.6	1.1	0.7																																								
普 通 作 業 員	#	3.3	2.2	4.4	2.2																																								
配 管 工	#	3.3	2.2	5.5	3.3																																								
諸 雑 費	%	9		11																																									
配管材料材料費	910																																												
配管材料材料費	1,820																																												
II-3-④-10	現行なし																																												
積算上の注意事項			(控え頁) 18／45																																										